

学校コード F112310102477
注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
和洋女子大学 国際学部

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 和洋学園
令和5年5月1日現在

目次

国際学部

<英語コミュニケーション学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	28
4. 既設大学等の状況	29
5. 教員組織の状況	30
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 和洋学園

(2) 大学名

和洋女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒272-8533

千葉県市川市国府台2-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガサカ ケンジロウ) 長坂 健二郎 (平成27年5月)		
学長	(キンダ コウジ) 岸田 宏司 (平成24年4月)		
学部長	(サトマサ メイゴ) 里正 明伍 (令和2年4月)		
学科長等	(コウチャマ アリサ) 河内山 有佐 (令和2年4月)	(ハイダ キヨシ) 拝田 清 (令和3年4月)	体調不良により変更(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 英語コミュニケーション学科 学芸(英語コミュニケーション)	文学関係	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人	人	人	人	60人	—人	60人	—人	60人	—人	60人	—人	0.76倍	—倍	0.75倍	—倍	
志願者数	()	()	()	()	404	—	235	—	176	—	114	—					
受験者数	()	()	()	()	396	—	217	—	170	—	111	—					
合格者数	()	()	()	()	117	—	137	—	165	—	107	—					
B 入学者数	()	()	()	()	65	—	52	—	38	—	30	—					
入学定員超過率 B/A					1.08		0.86		0.63		0.5						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	65 [-] (-)	- [-] (-)	52 [-] (-)	- [-] (-)	37 [-] (-)	- [-] (-)	30 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		65 [-] (-)	- [-] (-)	51 [-] (2)	- [-] (-)	37 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/				/		/		/		62 [-] (-)
4年次	/				/								/
計			[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	65 [-] (-)	- [-] (-)	117 [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	65人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	117人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	151人	3人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	2人	0人	修学意欲の低下・就職(1名)、 心身耗弱(1名)
			令和4年度	1人	0人	進学(1名)
令和5年度	180人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		3人		3人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{117} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{151} = \boxed{1.98} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{180} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 英語コミュニケーション学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
和洋アビリティーズ科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2								兼2
	パソコンの基礎と応用	1前	2			3			3		兼4
	ベーシックラーニング	1前・後	2								兼2
	小計(4科目)	—	2	6	0	3	0	0	3	0	兼8
人文学系	哲学への誘い	1前・後	2								兼1
	日本の文学	1前・後	2								兼2
	外国の文学	1後	2					1			
	ジェンダーと文学	1前	2					1			
	表現と創作	1前・後	2								兼2
	こんにちの文化	1前	2								兼1
	歴史学	1前	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前・後	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後	2								兼2
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	1	0	兼11	
社会科学系	日本国憲法	1前・後	2								兼1
	憲法と人権	1前・後	2								兼1
	国際関係入門	1前・後	2								兼1
	経済の仕組み	1前・後	2								兼2
	社会の仕組み	1前・後	2								兼2
	20世紀の日本	1前・後	2								兼1
	家族と社会	1前・後	2								兼1
	家族と福祉	1前・後	2								兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼8	
生活科学系	服装の科学	1前・後	2								兼1
	ファッションの文化	1前・後	2								兼1
	色彩の科学	1前	2								兼1
	健康と食生活	1前・後	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1前・後	2								兼1
	こどもと育児	1前・後	2								兼1
	化学	1前・後	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1前・後	2								兼6
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼15	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
和洋アビリティーズ科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2								兼1
	パソコンの基礎と応用	1前	2			0	2		1		兼3
	ベーシックラーニング	1前・後	2								兼4
	小計(4科目)	—	2	6	0	0	2	0	1	0	兼7
人文学系	哲学への誘い	1前・後	2								兼1
	日本の文学	1前・後	2								兼3
	外国の文学	1後	2				1		0		
	ジェンダーと文学	1前	2				1		0		
	表現と創作	1前・後	2								兼1
	こんにちの文化	1前・後	2								兼1
	歴史学	1前・後	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前・後	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後	2								兼1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	1	0	0	0	兼10	
社会科学系	日本国憲法	1前・後	2								兼1
	憲法と人権	1前・後	2								兼1
	国際関係入門	1前・後	2								兼1
	経済の仕組み	1前・後	2								兼1
	社会の仕組み	1前・後	2								兼1
	20世紀の日本	1前・後	2								兼1
	家族と社会	1後	2								兼1
	家族と福祉	1前・後	2								兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼7	
生活科学系	服装の科学	1前・後	2								兼1
	ファッションの文化	1前・後	2								兼1
	色彩の科学	1前	2								兼1
	健康と食生活	1前・後	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1前	2								兼1
	こどもと育児	1後	2								兼2
	化学	1前・後	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1前・後	2								兼4
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼14	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
人間科学系	社会貢献と実践	1前		2							兼2
	心理の科学	1前		2							兼2
	家族とジェンダー	1前・後		2							兼1
	人間の発達	1前・後		2							兼2
	生命の科学	1前・後		2							兼1
	現代の教育	1前・後		2							兼2
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2							兼1
	生命と医療の倫理	1後		2							兼1
	女性と美容	1前		2							兼1
	健康の科学	1前・後		2							兼4
	スポーツ実習	1前・後		1							兼4
	フィットネス実習	1後		1							兼3
小計 (12科目)		—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼18
海外研修科目	海外語学研修	1前・後		2		1					
	海外文化研修	1前・後		2							兼2
	小計 (2科目)		—	0	4	0	1	0	0	0	兼2
外国語科目	英語a	1前	1				1	1			兼1
	英語b	1前	1				1		2		兼1
	日本語a-I	1前		1							兼1
	日本語a-II	1後		1							兼1
	日本語b-I	1前		1							兼1
	日本語b-II	1後		1							兼1
	小計 (6科目)		—	2	4	0	1	1	1	2	0
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			3	1	1	3		
	国際異文化理解論	1前	2								兼1
	英語演習a	1後	1				1	1			兼1
	英語演習b	1後	1			1			2		兼1
	実践中国語 I	1後		2							兼1
	実践中国語 II	2前		2							兼1
	実践韓国語 I	1後		2							兼1
	実践韓国語 II	2前		2							兼1
	実践フランス語 I	1後		2							兼1
	実践フランス語 II	2前		2							兼1
	実践スペイン語 I	1後		2							兼1
	実践スペイン語 II	2前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (国際関係・交流論)	1前	2								兼1
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後		2							兼1
	ことばと社会	3後		2							兼1
	ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前		2					1		
	海外セミナーA	2後		12					1		
	海外セミナーB	2後・3前		24					1		
小計 (20科目)		—	7	62	0	3	1	1	3	0	兼11

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
人間科学系	社会貢献と実践	1通		2							兼2
	心理の科学	1前		2							兼2
	家族とジェンダー	1前・後		2							兼2
	人間の発達	1前・後		2							兼2
	生命の科学	1前・後		2							兼1
	現代の教育	1前・後		2							兼1
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2							兼2
	生命と医療の倫理	1後		2							兼1
	女性と美容	1前・後		2							兼2
	健康の科学	1前・後		2							兼1
	スポーツ実習	1前・後		1							兼4
	フィットネス実習	1前・後		1							兼2
小計 (12科目)		—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼19
海外研修科目	海外語学研修	1前・後		2		1					兼2
	海外文化研修	1通		2							兼1
	小計 (2科目)		—	0	4	0	1	0	0	0	兼3
外国語科目	英語a	1前	1					0	1		兼1
	英語b	1前	1					1	0		兼1
	日本語a-I	1前		1							兼1
	日本語a-II	1後		1							兼1
	日本語b-I	1前		1							兼1
	日本語b-II	1後		1							兼1
	小計 (6科目)		—	2	4	0	0	1	0	1	0
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			3	3		3		兼1
	国際異文化理解論	1前	2								兼1
	英語演習a	1後	1				0	0	1		兼1
	英語演習b	1後	1			1			0		兼1
	実践中国語 I	1後		2							兼1
	実践中国語 II	2前		2							兼1
	実践韓国語 I	1後		2							兼1
	実践韓国語 II	2前		2							兼1
	実践フランス語 I	1後		2							兼1
	実践フランス語 II	2前		2							兼1
	実践スペイン語 I	1後		2							兼1
	実践スペイン語 II	2前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (国際関係・交流論)	1前	2								兼1
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1後		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後		2							兼1
	ことばと社会	3後		2							兼1
	ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前		2					1		
	海外セミナーA	2後		12					1		
	海外セミナーB	2後・3前		24					1		
小計 (20科目)		—	7	62	0	3	3	0	3	0	兼11

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語コミュニケーションの基礎	ベーシック・ライティングⅠ	1前	2			1	1					
	ベーシック・ライティングⅡ	1後		2		1	1					
	ベーシック・リーディング	1前		2		1						
	インテンシブ・イングリッシュ	2前・後	2			1	1	1				
	英文法Ⅰ	1後		2							兼1	
	英文法Ⅱ	2前		2							兼1	
	留学準備	1前		2				1				
	トラベル・イングリッシュⅠ	1前		2				1				
	トラベル・イングリッシュⅡ	1後		2							兼1	
	実践英語Ⅰ-a	2前	2			1	1					
	実践英語Ⅰ-b	2前	2			1		1				
実践英語Ⅱ-a	2後	2			1	1						
実践英語Ⅱ-b	2後	2			1		1					
会話と文化	2前・後		2		1					兼1		
異文化コミュニケーション	2後		2		1							
小計(15科目)	—	12	18	0	2	1	1	2	0		兼3	
展開と背景的知識Ⅰ(英語文学文化系)	映像化された英語文学の世界	1前		2				1				
	英語音声学	1後		2		1						
	英語圏文化概論	1後		2				1				
	英語圏文学Ⅰ	2前		2				1				
	英語圏文学Ⅱ	2後		2				1				
	英語の歴史	2前		2							兼1	
	キリスト教の歴史と文化	2後		2							兼1	
	英語圏の児童文学	2後		2							兼1	
	イギリスの社会と文化	2前		2							兼1	
	アメリカの社会と文化	3後		2		1						
	文学と女性	3前		2				1				
	外国語としての日本語Ⅰ	3前		2							兼1	
	外国語としての日本語Ⅱ	3後		2							兼1	
	近現代と小説	3前		2				1				
小計(14科目)	—	0	28	0	1	1	0	3	0		兼4	
展開と背景的知識Ⅱ(実用英語系)	プレゼンテーション・スキルズ	1後	2			1	1					
	ビジネス英語Ⅰ	3前		2							兼1	
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2				1				
	チュートリアル英語Ⅰ	3前		2				1				
	チュートリアル英語Ⅱ	3後		2				1				
	チュートリアル英語Ⅲ	3後		2							兼1	
	グローバル・トピックス	3前		2				1				
	パブリック・スピーキング	3前		2			1					
	国際交流a	3前		2							兼1	
	国際交流b	3後		2							兼1	
小計(10科目)	—	2	18	0	1	1	1	0	0		兼3	
応用と実践	翻訳入門	2前		2				1				
	日英語比較演習(翻訳・通訳)	2後		2							兼1	
	英検マスター	2後		2				1				
	ディベート&ディスカッション	3後		2			1					
	TOEICⅠ	2前		2		1						
	TOEICⅡ	2後		2				1				
	TOEICⅢ	2後		2		1						
小計(7科目)	—	0	14	0	1	1	0	2	0		兼1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語コミュニケーションの基礎	ベーシック・ライティングⅠ	1前	2			1	0					兼1
	ベーシック・ライティングⅡ	1後		2			0	0	1			兼1
	ベーシック・リーディング	1前		2		1						
	インテンシブ・イングリッシュ	2前・後	2			1	0	0	1			兼1
	英文法Ⅰ	1後		2								兼1
	英文法Ⅱ	2前		2								兼1
	留学準備	1前		2					1			
	トラベル・イングリッシュⅠ	1前		2					1			
	トラベル・イングリッシュⅡ	1後		2								兼1
	実践英語Ⅰ-a	2前	2				1	0	1			
	実践英語Ⅰ-b	2前	2				0	0		1		
実践英語Ⅱ-a	2後	2				1	0	1				
実践英語Ⅱ-b	2後	2				0	0		1			
会話と文化	2前		2			1					兼1	
異文化コミュニケーション	2前		2			1						
小計(15科目)	—	12	18	0	2	1	0	3	0		兼4	
展開と背景的知識Ⅰ(英語文学文化系)	映像化された英語文学の世界	1後		2			1		0			
	英語音声学	1後		2		1						
	英語圏文化概論	1後		2			1		0			
	英語圏文学Ⅰ	2前		2			1		0			
	英語圏文学Ⅱ	2後		2					1			
	英語の歴史	2前		2								兼1
	キリスト教の歴史と文化	2後		2								兼1
	英語圏の児童文学	2後		2								兼1
	イギリスの社会と文化	2前		2								兼1
	アメリカの社会と文化	3後		2		1						
	文学と女性	3前		2				1		0		
	外国語としての日本語Ⅰ	3前		2								兼1
	外国語としての日本語Ⅱ	3後		2								兼1
	近現代と小説	3前		2				1		0		
小計(14科目)	—	0	28	0	1	3	0	1	0		兼4	
展開と背景的知識Ⅱ(実用英語系)	プレゼンテーション・スキルズ	1後	2			1	0					兼1
	ビジネス英語Ⅰ	3前		2								兼1
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2				0	1			
	チュートリアル英語Ⅰ	3前		2				0	1			
	チュートリアル英語Ⅱ	3前		2				0	1			
	チュートリアル英語Ⅲ	3後		2				0	1			兼2
	グローバル・トピックス	3前		2				0	0			兼1
	パブリック・スピーキング	3前		2			1					
	国際交流a	3前		2								兼1
	国際交流b	3後		2								兼1
小計(10科目)	—	2	18	0	1	1	0	1	0		兼3	
応用と実践	翻訳入門	2前		2					1			
	日英語比較演習(翻訳・通訳)	2後		2								兼1
	英検マスター	2後		2					1			
	ディベート&ディスカッション	3後		2			1					
	TOEICⅠ	2前		2			0			1		
	TOEICⅡ	2後		2				1		0		
	TOEICⅢ	2後		2			0			1		
小計(7科目)	—	0	14	0	0	2	0	2	0		兼1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門ゼミ	英語専門ゼミA	2前		2		1						
	英語専門ゼミB	2前		2					1			
	英語専門ゼミC	2前		2		1						
	英語専門ゼミD	2後		2					1			
	論文作成ゼミⅠ	3前	2			3			3		兼1	
	論文作成ゼミⅡ	3後	2			3			3		兼1	
	卒業論文演習	4通	4			3			3		兼1	
	小計(7科目)	—	8	8	0	3	0	0	3	0	兼1	
に教職に関する科目	英語科教育論Ⅰ	2前			2	1						
	英語科教育論Ⅱ	2後			2	1						
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	1						
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	1						
	小計(4科目)	—	0	0	8	1	0	0	0	0	兼0	
教職に関連する科目	教育原理(中・高)	1後			2							兼1
	教職入門	1前			2							兼1
	教育行政学	2前・後			2							兼1
	教育心理学	1後			2							兼1
	特別支援教育論	2前・後			2							兼1
	教育課程論	2前・後			2							兼1
	道德教育の指導法	2前・後			2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2							兼1
	特別活動の指導法	3前・後			2							兼1
	教育の方法と技術	2前・後			2							兼1
	生徒・進路指導論	3前・後			2							兼2
	教育相談	3前・後			2							兼1
	教育実習事前事後指導	4前			1							兼3
	教育実習	4通			4							兼3
教職実践演習(中・高)	4後			2							兼2	
介護等体験	3通			2							兼2	
教職セミナー	2後			2							兼3	
小計(17科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼7		
論学校図書館司書教	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
	学校図書館メディアの構成	2後			2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後			2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2							兼1
	情報メディアの活用	2前			2							兼1
	小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	兼2	
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	図書館概論	1前			2							兼1
	図書館制度・経営論	2後			2							兼1
	図書館情報技術論	2前			2							兼1
	図書館サービス概論	1後			2							兼1
	児童サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス演習A	2前			1							兼1
	情報サービス演習B	2後			1							兼1
	図書館情報資源概論	1後			2							兼1
	情報資源組織論	2後			2							兼1
	情報資源組織演習A	3前			1							兼1
	情報資源組織演習B	3後			1							兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
読書と豊かな人間性	2前			2							兼1	
図書館情報資源特論	2前			2							兼1	
図書館総合演習	3前			1							兼1	
図書館実習	3前			1							兼1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門ゼミ	英語専門ゼミA	2後		2		1						
	英語専門ゼミB	2前		2			1		0			兼1
	英語専門ゼミC	2後		2		0						兼1
	英語専門ゼミD	2前・後		2			1		1			兼1
	論文作成ゼミⅠ	3前	2			3	3		1		兼1	
	論文作成ゼミⅡ	3後	2			3	3		1		兼1	
	卒業論文演習	4通	4			3	3		1		兼1	
	小計(7科目)	—	8	8	0	3	3	0	1	0	兼1	
に教職に関する科目	英語科教育論Ⅰ	2前			2	1						兼0
	英語科教育論Ⅱ	2後			2	1						兼0
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	0						兼1
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	0						兼1
	小計(4科目)	—	0	0	8	1	0	0	0	0	兼1	
教職に関連する科目	教育原理(中・高)	1後			2							兼1
	教職入門	1前			2							兼1
	教育行政学	2前・後			2							兼2
	教育心理学	1後			2							兼1
	特別支援教育論	2前・後			2							兼1
	教育課程論	2前・後			2							兼1
	道德教育の指導法	2前・後			2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2							兼1
	特別活動の指導法	3前・後			2							兼2
	教育の方法と技術	2前・後			2							兼1
	生徒・進路指導論	2後			2							兼1
	教育相談	3前			2							兼1
	教育実習事前事後指導	4前			1							兼3
	教育実習	4通			4							兼3
教職実践演習(中・高)	4後			2							兼2	
介護等体験	3通			2							兼3	
教職セミナー	2通			2							兼4	
小計(17科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼12		
論学校図書館司書教	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
	学校図書館メディアの構成	2前			2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後			2							兼1
	読書と豊かな人間性	2後			2							兼1
	情報メディアの活用	2後			2							兼1
	小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	兼2	
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	図書館概論	1前			2							兼1
	図書館制度・経営論	2前			2							兼1
	図書館情報技術論	2前			2							兼1
	図書館サービス概論	1後			2							兼1
	児童サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス演習A	3前			1							兼1
	情報サービス演習B	3後			1							兼1
	図書館情報資源概論	1後			2							兼1
	情報資源組織論	2後			2							兼1
	情報資源組織演習A	3前			1							兼1
	情報資源組織演習B	3後			1							兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
読書と豊かな人間性	2後			2							兼1	
図書館情報資源特論	2前			2							兼1	
図書館総合演習	3後			1							兼1	
図書館実習	3前			1							兼1	

小計 (18科目)	-	0	0	30	0	0	0	0	0	0	兼6
-----------	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	----

小計 (18科目)	-	0	0	30	0	0	0	0	0	0	兼7
-----------	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	----

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2						兼1
	博物館経営論	2後			2						兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2						兼1
	生涯学習概論	2前・後			2						兼1
	博物館資料論	3前			2						兼1
	博物館展示論	3前			2						兼1
	博物館教育論	3後			2						兼1
	博物館資料保存論	4前			2						兼1
	博物館実習 I	4前			1						兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4後			2						兼1
	美術史 I	1前			2						兼1
	美術史 II	1後			2						兼1
	古代学 I	2前			2						兼1
	古代学 II	2後			2						兼1
	民俗学 I	3前			2						兼1
	民俗学 II	3後			2						兼1
小計 (16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0	兼7	
合計 (189科目)	—	33	248	114	3	1	1	3	0	兼88	

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【英語コミュニケーション学科】
 専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「英語コミュニケーションの基礎」20単位以上、「展開と背景的知識Ⅰ（英語文学文化系）」12単位以上、「展開と背景的知識Ⅱ（実用英語系）」8単位以上、「応用と実践」10単位以上、「専門ゼミ」10単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に国際学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。
 年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2						兼1
	博物館経営論	2後			2						兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2						兼1
	生涯学習概論	2前・後			2						兼1
	博物館資料論	3前			2						兼1
	博物館展示論	3前			2						兼1
	博物館教育論	3後			2						兼1
	博物館資料保存論	4前			2						兼1
	博物館実習 I	4後			1						兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4前			2						兼3
	美術史 I	1前			2						兼1
	美術史 II	1後			2						兼1
	古代学 I	1前			2						兼1
	古代学 II	1後			2						兼1
	民俗学 I	3前			2						兼1
	民俗学 II	3後			2						兼1
小計 (16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0	兼8	
合計 (189科目)	—	33	248	114	3	3	0	3	0	兼79	

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【英語コミュニケーション学科】
 専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「英語コミュニケーションの基礎」20単位以上、「展開と背景的知識Ⅰ（英語文学文化系）」12単位以上、「展開と背景的知識Ⅱ（実用英語系）」8単位以上、「応用と実践」10単位以上、「専門ゼミ」10単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に国際学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。
 年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
和洋アビリティイースト科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2			3	2		1	兼1
	パソコンの基礎と応用	1前・後	2							兼4
	ベーシックラーニング	1前・後	2							兼3
	小計(4科目)	-	2	6	0	3	2	0	1	0
人文科学系	哲学への誘い	1前・後		2						兼1
	日本の文学	1前・後		2						兼3
	外国の文学	1後		2		1		0		
	ジェンダーと文学	1前		2		1		0		
	表現と創作	1前・後		2						兼1
	こんにちの文化	1前		2						兼1
	歴史学	1前・後		2						兼1
	日本の美術	1前		2						兼1
	西洋の美術	1後		2						兼1
	音楽の歴史	1後		2						兼1
	音楽の楽しみ	1前		2						兼1
	手書き文字の世界	1前・後		2						兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後		2						兼1
小計(13科目)	-	0	26	0	0	1	0	0	0	兼10
社会科学系	日本国憲法	1前・後		2						兼1
	憲法と人権	1前・後		2						兼1
	国際関係入門	1前・後		2						兼1
	経済の仕組み	1前・後		2						兼1
	社会の仕組み	1前・後		2						兼1
	20世紀の日本	1前・後		2						兼1
	家族と社会	1前		2						兼1
	家族と福祉	1前・後		2						兼1
小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	兼7
生活科学系	服装の科学	1前・後		2						兼1
	ファッションの文化	1前・後		2						兼1
	色彩の科学	1前		2						兼1
	健康と食生活	1前・後		2						兼2
	住まいとデザイン	1後		2						兼1
	社会福祉の展望	1後		2						兼1
	加齢と高齢者の科学	1前		2						兼1
	こどもと育児	1前・後		2						兼2
	化学	1前・後		2						兼1
	数理と発想	1後		2						兼1
	看護の知識	1前・後		2						兼4
小計(11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	兼14

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
和洋アビリティイースト科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2				2		1	兼1
	パソコンの基礎と応用	1前・後	2							兼4
	ベーシックラーニング	1前・後	2							兼3
	小計(4科目)	-	2	6	0	0	2	0	1	0
人文科学系	哲学への誘い	1前・後		2						兼1
	日本の文学	1前・後		2						兼3
	外国の文学	1後		2			1		0	
	ジェンダーと文学	1前		2			1		0	
	表現と創作	1前・後		2						兼1
	こんにちの文化	1前		2						兼1
	歴史学	1前・後		2						兼1
	日本の美術	1前		2						兼1
	西洋の美術	1後		2						兼1
	音楽の歴史	1後		2						兼1
	音楽の楽しみ	1前		2						兼1
	手書き文字の世界	1前・後		2						兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後		2						兼1
小計(13科目)	-	0	26	0	0	1	0	0	0	兼9
社会科学系	日本国憲法	1前・後		2						兼1
	憲法と人権	1前・後		2						兼1
	国際関係入門	1前・後		2						兼1
	経済の仕組み	1前・後		2						兼1
	社会の仕組み	1前・後		2						兼1
	20世紀の日本	1後		2						兼1
	家族と社会	1後		2						兼1
	家族と福祉	1前・後		2						兼1
小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	兼7
生活科学系	服装の科学	1前・後		2						兼1
	ファッションの文化	1前・後		2						兼1
	色彩の科学	1前		2						兼1
	健康と食生活	1前・後		2						兼2
	住まいとデザイン	1後		2						兼1
	社会福祉の展望	1後		2						兼1
	加齢と高齢者の科学	1後		2						兼1
	こどもと育児	1後		2						兼1
	化学	1前・後		2						兼1
	数理と発想	1後		2						兼1
	看護の知識	1前・後		2						兼6
小計(11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	兼15

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
人間科学系	社会貢献と実践	1通		2							兼2
	心理の科学	1前		2							兼2
	家族とジェンダー	1前・後		2							兼2
	人間の発達	1前・後		2							兼2
	生命の科学	1前・後		2							兼1
	現代の教育	1前・後		2							兼1
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2							兼2
	生命と医療の倫理	1後		2							兼1
	女性と美容	1前・後		2							兼2
	健康の科学	1前・後		2							兼1
	スポーツ実習	1前・後		1							兼4
フィットネス実習	1前・後		1							兼1	
小計(12科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼18
海外研修科目	海外語学研修	1後		2		0			1		兼2
	海外文化研修	1通		2							兼0
	小計(2科目)	-	0	4	0	0	0	1	0		兼2
外国語科目	英語a	1前	1				0	1			兼1
	英語b	1前	1					1			兼1
	日本語a-I	1前		1							兼1
	日本語a-II	1後		1							兼1
	日本語b-I	1前		1							兼1
	日本語b-II	1後		1							兼1
	小計(6科目)	-	2	4	0	0	0	2	0		兼3
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			3	3	0	3	0	兼1
	国際異文化理解論	1前	2								兼1
	英語演習a	1後	1			1	0	1			兼1
	英語演習b	1後	1		1	1		0			兼2
	実践中国語 I	1後		2							兼1
	実践中国語 II	2前		2							兼1
	実践韓国語 I	1後		2							兼1
	実践韓国語 II	2前		2							兼1
	実践フランス語 I	1後		2							兼1
	実践フランス語 II	2前		2							兼1
	実践スペイン語 I	1後		2							兼1
	実践スペイン語 II	2前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (国際関係・交流論)	1前	2								兼1
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代経済) (未開講)	1前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後		2							兼1
	ことばと社会	3後		2							兼1
	ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前		2			1				
	海外セミナーA	2後		12			1				
海外セミナーB	2後・3前		24			1					
小計(20科目)	-	7	62	0	3	3	0	3	0		兼12

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
人間科学系	社会貢献と実践	1通		2							兼2
	心理の科学	1前		2							兼2
	家族とジェンダー	1前・後		2							兼2
	人間の発達	1前・後		2							兼2
	生命の科学	1前・後		2							兼1
	現代の教育	1前・後		2							兼2
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2							兼2
	生命と医療の倫理	1後		2							兼1
	女性と美容	1前		2							兼2
	健康の科学	1前・後		2							兼4
	スポーツ実習	1前・後		1							兼4
フィットネス実習	1前・後		1							兼3	
小計(12科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼20
海外研修科目	海外語学研修	1前・後		2		0			1		兼2
	海外文化研修	1通		2							兼0
	小計(2科目)	-	0	4	0	0	0	1	0		兼2
外国語科目	英語a	1前	1					0	1		兼1
	英語b	1前	1						1		兼1
	日本語a-I	1前		1							兼1
	日本語a-II	1後		1							兼1
	日本語b-I	1前		1							兼1
	日本語b-II	1後		1							兼1
	小計(6科目)	-	2	4	0	0	0	2	0		兼3
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			3	3	0	3	0	兼1
	国際異文化理解論	1前	2								兼1
	英語演習a	1後	1			1	0	1			兼1
	英語演習b	1後	1		1	1		0			兼2
	実践中国語 I	1後		2							兼1
	実践中国語 II	2前		2							兼1
	実践韓国語 I	1後		2							兼1
	実践韓国語 II	2前		2							兼1
	実践フランス語 I	1後		2							兼1
	実践フランス語 II	2前		2							兼1
	実践スペイン語 I	1後		2							兼1
	実践スペイン語 II	2前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (国際関係・交流論)	1前	2								兼1
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後		2							兼0
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後		2							兼1
	ことばと社会	3後		2							兼1
	ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前		2					1		
	海外セミナーA	2後		12					1		
海外セミナーB	2後・3前		24					1			
小計(20科目)	-	7	62	0	3	3	0	3	0		兼13

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
英語コミュニケーションの基礎	ベーシック・ライティングⅠ	1前	2			1	0			兼1
	ベーシック・ライティングⅡ	1後		2		0	0	1		兼1
	ベーシック・リーディング	1前		2		1				
	インテンシブ・イングリッシュ	2前・後	2			1	0	0	1	兼1
	英文法Ⅰ	1後		2						兼1
	英文法Ⅱ	2前		2						兼1
	留学準備	1前		2					1	
	トラベル・イングリッシュⅠ	1前		2					1	
	トラベル・イングリッシュⅡ	1後		2						兼1
	実践英語Ⅰ-a	2前	2			1	0	1		
	実践英語Ⅰ-b	2前	2			0	0		1	
実践英語Ⅱ-a	2後	2			1	0	1			
実践英語Ⅱ-b	2後	2			0	0		1		
会話と文化	2前		2		1					兼1
異文化コミュニケーション	2前		2		1					
小計(15科目)	—	12	18	0	2	1	0	3	0	兼4
展開と背景的知識Ⅰ(英語文学文化系)	映像化された英語文学の世界	1後		2		1		0		
	英語音声学	1後		2		1				
	英語圏文化概論	1後		2		1		0		
	英語圏文学Ⅰ	2前		2		1		0		
	英語圏文学Ⅱ	2後		2					1	
	英語の歴史	2前		2						兼1
	キリスト教の歴史と文化	2後		2						兼1
	英語圏の児童文学	2後		2						兼1
	イギリスの社会と文化	2前		2						兼1
	アメリカの社会と文化	3後		2		1				
	文学と女性	3前		2		1		0		
	外国語としての日本語Ⅰ	3前		2						兼1
	外国語としての日本語Ⅱ	3後		2						兼1
	近現代と小説	3前		2		1		0		
小計(14科目)	—	0	28	0	1	3	0	1	0	兼3
展開と背景的知識Ⅱ(実用英語系)	プレゼンテーション・スキルズ	1後	2			1		0		兼1
	ビジネス英語Ⅰ	3前		2						兼1
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2			0	1		
	チュートリアル英語Ⅰ	3前		2			0	1		
	チュートリアル英語Ⅱ	3前		2			0	1		
	チュートリアル英語Ⅲ	3後		2						兼2
	グローバル・トピックス	3前		2			0	0		兼1
	パブリック・スピーキング	3前		2		1				
	国際交流a	3前		2						兼1
	国際交流b	3後		2						兼1
小計(10科目)	—	2	18	0	1	1	0	1	0	兼4
応用と実践	翻訳入門	2前		2					1	
	日英語比較演習(翻訳・通訳)	2後		2						兼1
	英検マスター	2後		2					1	
	ディベート&ディスカッション	3後		2		1				
	TOEICⅠ	2前		2		0		1		
	TOEICⅡ	2後		2		1		0		
	TOEICⅢ	2後		2		0		1		
小計(7科目)	—	0	14	0	0	2	0	2	0	兼1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
英語コミュニケーションの基礎	ベーシック・ライティングⅠ	1前	2			1	0			兼1
	ベーシック・ライティングⅡ	1後		2		1	0	1		
	ベーシック・リーディング	1前		2		1				
	インテンシブ・イングリッシュ	2前・後	2			1	1	0	0	兼1
	英文法Ⅰ	1後		2						兼1
	英文法Ⅱ	2前		2						兼1
	留学準備	1前		2					1	
	トラベル・イングリッシュⅠ	1前		2					1	
	トラベル・イングリッシュⅡ	1後		2						兼1
	実践英語Ⅰ-a	2前	2				1	0	1	
	実践英語Ⅰ-b	2前	2			0	0		1	
実践英語Ⅱ-a	2後	2			1	0	1			
実践英語Ⅱ-b	2後	2			0	0		1		
会話と文化	2前		2		1					兼1
異文化コミュニケーション	2前		2		1					
小計(15科目)	—	12	18	0	2	1	0	2	0	兼4
展開と背景的知識Ⅰ(英語文学文化系)	映像化された英語文学の世界	1後		2		1		0		
	英語音声学	1後		2		1				
	英語圏文化概論	1前		2		1		0		
	英語圏文学Ⅰ	2前		2		1		0		
	英語圏文学Ⅱ	2後		2					1	
	英語の歴史	2前		2						兼1
	キリスト教の歴史と文化	2後		2						兼1
	英語圏の児童文学	2後		2						兼1
	イギリスの社会と文化	2前		2						兼1
	アメリカの社会と文化	3後		2		1				
	文学と女性	3前		2		1		0		
	外国語としての日本語Ⅰ	3前		2						兼1
	外国語としての日本語Ⅱ	3後		2						兼1
	近現代と小説	3前		2		1		0		
小計(14科目)	—	0	28	0	1	3	0	1	0	兼4
展開と背景的知識Ⅱ(実用英語系)	プレゼンテーション・スキルズ	1後	2			1		0		兼1
	ビジネス英語Ⅰ	3前		2						兼1
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2			0	1		
	チュートリアル英語Ⅰ	3前		2			0	1		
	チュートリアル英語Ⅱ	3後		2			0	1		
	チュートリアル英語Ⅲ	3後		2						兼1
	グローバル・トピックス	3前		2			0	1		
	パブリック・スピーキング	3前		2		1				
	国際交流a	3前		2						兼1
	国際交流b	3後		2						兼1
小計(10科目)	—	2	18	0	1	1	0	1	0	兼4
応用と実践	翻訳入門	2前		2					1	
	日英語比較演習(翻訳・通訳)	2後		2						兼1
	英検マスター	2後		2					1	
	ディベート&ディスカッション	3後		2		1				
	TOEICⅠ	2前		2		0		1		
	TOEICⅡ	2後		2		1		0		
	TOEICⅢ	2後		2		0		1		
小計(7科目)	—	0	14	0	0	2	0	2	0	兼1

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門ゼミ	英語専門ゼミA	2後		2		1						
	英語専門ゼミB	2前		2			1		0			
	英語専門ゼミC	2後		2		0					兼1	
	英語専門ゼミD	2後		2			1		1			
	論文作成ゼミⅠ	3前	2			3	3		1		兼1	
	論文作成ゼミⅡ	3後	2			3	3		1		兼1	
	卒業論文演習	4通	4			3	3		1		兼1	
	小計(7科目)	—	8	8	0	3	3	0	1	0	兼1	
に教職に関する科目	英語科教育論Ⅰ	2前			2	0					兼1	
	英語科教育論Ⅱ	2後			2	1						
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	0					兼1	
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	1						
	小計(4科目)	—	0	0	8	1	0	0	0	0	兼1	
教職に関連する科目	教育原理(中・高)	1後			2						兼1	
	教職入門	1前			2						兼1	
	教育行政学	2前・後			2						兼2	
	教育心理学	1後			2						兼1	
	特別支援教育論	2前・後			2						兼1	
	教育課程論	2前・後			2						兼1	
	道徳教育の指導法	2前・後			2						兼1	
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2						兼1	
	特別活動の指導法	3前・後			2						兼2	
	教育の方法と技術	2前・後			2						兼2	
	生徒・進路指導論	2前・後			2						兼1	
	教育相談	3前・後			2						兼1	
	教育実習事前事後指導	4前			1						兼3	
	教育実習	4通			4						兼3	
教職実践演習(中・高)	4後			2						兼2		
介護等体験	3通			2						兼3		
教職セミナー	2通			2						兼4		
小計(17科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼12		
学校図書館司書教	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1	
	学校図書館メディアの構成	2前			2						兼1	
	学習指導と学校図書館	2後			2						兼1	
	読書と豊かな人間性	2後			2						兼1	
	情報メディアの活用	2後			2						兼1	
小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	兼2		
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2						兼1	
	図書館概論	1前			2						兼1	
	図書館制度・経営論	2前			2						兼1	
	図書館情報技術論	2前			2						兼1	
	図書館サービス概論	1後			2						兼1	
	児童サービス論	2後			2						兼1	
	情報サービス論	2後			2						兼1	
	情報サービス演習A	3前			1						兼1	
	情報サービス演習B	3後			1						兼1	
	図書館情報資源概論	1後			2						兼1	
	情報資源組織論	2後			2						兼1	
	情報資源組織演習A	3前			1						兼1	
	情報資源組織演習B	3後			1						兼1	
	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1	
	読書と豊かな人間性	2後			2						兼1	
	図書館情報資源特論	2前			2						兼1	
	図書館総合演習	3後			1						兼1	
	図書館実習	3前			1						兼1	
小計(18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼6		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門ゼミ	英語専門ゼミA	2後		2		1						
	英語専門ゼミB	2後		2			1		0			
	英語専門ゼミC	2後		2		0					兼1	
	英語専門ゼミD	2後		2			1		1			
	論文作成ゼミⅠ	3前	2			3	2		1		兼1	
	論文作成ゼミⅡ	3後	2			3	2		1		兼1	
	卒業論文演習	4通	4			3	2		1		兼1	
	小計(7科目)	—	8	8	0	3	2	0	1	0	兼1	
に教職に関する科目	英語科教育論Ⅰ	2前			2	1						
	英語科教育論Ⅱ	2後			2	1						
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	1						
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	1						
	小計(4科目)	—	0	0	8	1	0	0	0	0	兼0	
教職に関連する科目	教育原理(中・高)	1後			2						兼1	
	教職入門	1前			2						兼1	
	教育行政学	2前・後			2						兼2	
	教育心理学	1後			2						兼1	
	特別支援教育論	2前・後			2						兼1	
	教育課程論	2前・後			2						兼1	
	道徳教育の指導法	2前・後			2						兼1	
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2						兼1	
	特別活動の指導法	3前・後			2						兼2	
	教育の方法と技術	2前・後			2						兼2	
	生徒・進路指導論	2前・後			2						兼1	
	教育相談	3前・後			2						兼1	
	教育実習事前事後指導	4前			1						兼3	
	教育実習	4通			4						兼3	
教職実践演習(中・高)	4後			2						兼2		
介護等体験	3通			2						兼3		
教職セミナー	2通			2						兼4		
小計(17科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼10		
学校図書館司書教	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1	
	学校図書館メディアの構成	2前			2						兼1	
	学習指導と学校図書館	2後			2						兼1	
	読書と豊かな人間性	2前			2						兼1	
	情報メディアの活用	2後			2						兼1	
小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	兼2		
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2						兼1	
	図書館概論	1前			2						兼1	
	図書館制度・経営論	2前			2						兼1	
	図書館情報技術論	2前			2						兼1	
	図書館サービス概論	1後			2						兼1	
	児童サービス論	2後			2						兼1	
	情報サービス論	2後			2						兼1	
	情報サービス演習A	2前			1						兼1	
	情報サービス演習B	2後			1						兼1	
	図書館情報資源概論	1後			2						兼1	
	情報資源組織論	2後			2						兼1	
	情報資源組織演習A	3前			1						兼1	
	情報資源組織演習B	3後			1						兼1	
	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1	
	読書と豊かな人間性	2前			2						兼1	
	図書館情報資源特論	2前			2						兼1	
	図書館総合演習	3後			1						兼1	
	図書館実習	3前			1						兼1	
小計(18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼6		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2							兼1
	博物館経営論	2後			2							兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2							兼1
	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	博物館資料論	3前			2							兼1
	博物館展示論	3前			2							兼1
	博物館教育論	3後			2							兼1
	博物館資料保存論	4前			2							兼1
	博物館実習 I	4後			1							兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4前			2							兼3
	美術史 I	1前			2							兼1
	美術史 II	1後			2							兼1
	古代学 I	1前			2							兼1
	古代学 II	1後			2							兼1
	民俗学 I	3前			2							兼1
	民俗学 II	3後			2							兼1
小計 (16科目)		-	0	0	31	0	0	0	0	0		兼8
合計 (189科目)		-	33	248	114	3	3	0	3	0		兼95

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【英語コミュニケーション学科】
 専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「英語コミュニケーションの基礎」20単位以上、「展開と背景的知識Ⅰ（英語文学文化系）」12単位以上、「展開と背景的知識Ⅱ（実用英語系）」8単位以上、「応用と実践」10単位以上、「専門ゼミ」10単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に国際学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。
 年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2							兼1
	博物館経営論	2後			2							兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2							兼1
	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	博物館資料論	3前			2							兼1
	博物館展示論	3前			2							兼1
	博物館教育論	3後			2							兼1
	博物館資料保存論	4前			2							兼1
	博物館実習 I	4後			1							兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4前			2							兼3
	美術史 I	1前			2							兼1
	美術史 II	1後			2							兼1
	古代学 I	1前			2							兼1
	古代学 II	1後			2							兼1
	民俗学 I	3前			2							兼1
	民俗学 II	3後			2							兼1
小計 (16科目)		-	0	0	31	0	0	0	0	0		兼8
合計 (189科目)		-	33	248	114	3	3	0	3	0		兼86

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【英語コミュニケーション学科】
 専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「英語コミュニケーションの基礎」20単位以上、「展開と背景的知識Ⅰ（英語文学文化系）」12単位以上、「展開と背景的知識Ⅱ（実用英語系）」8単位以上、「応用と実践」10単位以上、「専門ゼミ」10単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に国際学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。
 年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
和洋アビリティーズ科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後		2							兼1
	パソコンの基礎と応用	1前	2			3	2		1		兼4
	ベーシックラーニング	1前・後		2							兼3
	小計(4科目)	—	2	6	0	3	2	0	1	0	兼8
人文科学系	哲学への誘い	1前・後		2							兼1
	日本の文学	1前・後		2							兼2
	外国の文学	1後		2			1		0		
	ジェンダーと文学	1前		2			1		0		
	表現と創作	1前・後		2							兼2
	こんにちの文化	1前		2							兼1
	歴史学	1前・後		2							兼1
	日本の美術	1前		2							兼1
	西洋の美術	1後		2							兼1
	音楽の歴史	1後		2							兼1
	音楽の楽しみ	1前		2							兼1
	手書き文字の世界	1前・後		2							兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後		2							兼1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	1	0	0	0	兼11	
社会科学系	日本国憲法	1前・後		2							兼1
	憲法と人権	1前・後		2							兼1
	国際関係入門	1前・後		2							兼1
	経済の仕組み	1前・後		2							兼1
	社会の仕組み	1前・後		2							兼1
	20世紀の日本	1前		2							兼1
	家族と社会	1前		2							兼1
	家族と福祉	1前・後		2							兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼7	
生活科学系	服装の科学	1前・後		2							兼1
	ファッションの文化	1前・後		2							兼2
	色彩の科学	1前		2							兼1
	健康と食生活	1前・後		2							兼2
	住まいとデザイン	1後		2							兼1
	社会福祉の展望	1後		2							兼1
	加齢と高齢者の科学	1後		2							兼1
	こどもと育児	1前・後		2							兼2
	化学	1前・後		2							兼1
	数理と発想	1後		2							兼1
	看護の知識	1前・後		2							兼6
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼18	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間科学系	社会貢献と実践	1前		2								兼0
	心理の科学	1前		2								兼2
	家族とジェンダー	1前・後		2								兼2
	人間の発達	1前・後		2								兼2
	生命の科学	1前・後		2								兼1
	現代の教育	1後		2								兼2
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2								兼2
	生命と医療の倫理	1後		2								兼1
	女性と美容	1前		2								兼1
	健康の科学	1前・後		2								兼4
	スポーツ実習	1前・後		1								兼4
	フィットネス実習	1後		1								兼3
小計(12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0		兼19	
海外研修科目	海外語学研修	1後		2		0						兼1
	海外文化研修	1前・後		2								兼0
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0		兼1	
外国語科目	英語a	1前	1				1	0	1			兼1
	英語b	1前	1			1			1			兼2
	日本語a-I	1前		1								兼1
	日本語a-II	1後		1								兼1
	日本語b-I	1前		1								兼1
	日本語b-II	1後		1								兼1
	小計(6科目)	—	2	4	0	1	1	0	2	0		兼4
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			3	3	0	2	0		兼1
	国際異文化理解論	1前		2								兼1
	英語演習a	1後		1			1	0	1			兼1
	英語演習b	1後		1		1			1			兼2
	実践中国語 I	1後		2								兼1
	実践中国語 II	2前		2								兼1
	実践韓国語 I	1後		2								兼1
	実践韓国語 II	2前		2								兼1
	実践フランス語 I	1後		2								兼1
	実践フランス語 II	2前		2								兼1
	実践スペイン語 I	1後		2								兼1
	実践スペイン語 II	2前		2								兼1
	国際社会文化の基礎 (国際関係・交流論)	1前	2									兼1
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後		2								兼1
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1前		2								兼1
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後		2								兼1
	ことばと社会	3後		2								兼1
ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前		2			1						
海外セミナーA	2後		12			1						
海外セミナーB	2後・3前		24			1						
小計(20科目)	—	7	62	0	1	3	0	3	0		兼13	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語コミュニケーションの基礎	ベーシック・ライティングⅠ	1前	2				1	0			兼1
	ベーシック・ライティングⅡ	1後		2			1	0	1		
	ベーシック・リーディング	1前		2		1					
	インテンシブ・イングリッシュ	2前・後	2			1	1	0	1		
	英文法Ⅰ	1後		2							兼1
	英文法Ⅱ	2前		2							兼1
	留学準備	1前		2					1		
	トラベル・イングリッシュⅠ	1前		2					1		
	トラベル・イングリッシュⅡ	1後		2							兼1
	実践英語Ⅰ-a	2前	2				1	0	1		
	実践英語Ⅰ-b	2前	2			1	1		0		
	実践英語Ⅱ-a	2後	2				1	0	1		
実践英語Ⅱ-b	2後	2			1	1		0			
会話と文化	2前・後		2		1					兼1	
異文化コミュニケーション	2後		2		1						
小計(15科目)	—	12	18	0	2	2	0	2	0	兼4	
展開と背景的知識Ⅰ(英語文学文化系)	映像化された英語文学の世界	1前		2			1		0		
	英語音声学	1後		2		1					
	英語圏文化概論	1後		2			1		0		
	英語圏文学Ⅰ	2前		2			1		0		
	英語圏文学Ⅱ	2後		2					1		
	英語の歴史	2前		2							兼1
	キリスト教の歴史と文化	2後		2							兼1
	英語圏の児童文学	2後		2							兼1
	イギリスの社会と文化	2前		2							兼1
	アメリカの社会と文化	3後		2			1				
	文学と女性	3前		2			1		0		
	外国語としての日本語Ⅰ	3前		2							兼1
	外国語としての日本語Ⅱ	3後		2							兼1
	近現代と小説	3前		2			1		0		
小計(14科目)	—	0	28	0	1	3	0	1	0	兼4	
展開と背景的知識Ⅱ(実用英語系)	プレゼンテーション・スキルズ	1後	2			1		0			兼1
	ビジネス英語Ⅰ	3前		2							兼1
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2				0	1		
	チュートリアル英語Ⅰ	3前		2				0	1		
	チュートリアル英語Ⅱ	3後		2				0	1		
	チュートリアル英語Ⅲ	3後		2							兼1
	グローバル・トピックス	3前		2				0	1		
	パブリック・スピーキング	3前		2		1					
	国際交流a	3前		2							兼1
	国際交流b	3後		2							兼1
小計(10科目)	—	2	18	0	1	1	0	1	0	兼4	
応用と実践	翻訳入門	2前		2					1		
	日英語比較演習(翻訳・通訳)	2後		2							兼1
	英検マスター	2後		2					1		
	ディベート&ディスカッション	3後		2			1				
	TOEICⅠ	2前		2		1					
	TOEICⅡ	2後		2			1		0		
	TOEICⅢ	2後		2		1					
小計(7科目)	—	0	14	0	1	2	0	1	0	兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門ゼミ	英語専門ゼミA	2前		2		1					
	英語専門ゼミB	2前		2			1		0		
	英語専門ゼミC	2前		2		1					
	英語専門ゼミD	2後		2			1		0		
	論文作成ゼミⅠ	3前	2			3	2		1		兼1
	論文作成ゼミⅡ	3後	2			3	2		1		兼1
	卒業論文演習	4通	4			3	2		1		兼1
小計(7科目)	—	8	8	0	3	2	0	1	0	兼1	
に教職に関する科目	英語科教育論Ⅰ	2前			2	1					
	英語科教育論Ⅱ	2後			2	1					
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	1					
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	1					
小計(4科目)	—	0	0	8	1	0	0	0	0	兼0	
教職に関連する科目	教育原理(中・高)	1後			2						兼1
	教職入門	1前			2						兼1
	教育行政学	2前・後			2						兼1
	教育心理学	1後			2						兼1
	特別支援教育論	2前・後			2						兼1
	教育課程論	2前・後			2						兼1
	道徳教育の指導法	2前・後			2						兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2						兼1
	特別活動の指導法	3前・後			2						兼1
	教育の方法と技術	2前・後			2						兼1
	生徒・進路指導論	2前・後			2						兼2
	教育相談	3前・後			2						兼1
	教育実習事前事後指導	4前			1						兼3
	教育実習	4通			4						兼3
教職実践演習(中・高)	4後			2						兼2	
介護等体験	3通			2						兼2	
教職セミナー	2後			2						兼3	
小計(17科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼7	
学校図書館に関する科目	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1
	学校図書館メディアの構成	2後			2						兼1
	学習指導と学校図書館	2後			2						兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2						兼1
	情報メディアの活用	2前			2						兼1
小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	兼2	
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2						兼1
	図書館概論	1前			2						兼1
	図書館制度・経営論	2後			2						兼1
	図書館情報技術論	2前			2						兼1
	図書館サービス概論	1後			2						兼1
	児童サービス論	2後			2						兼1
	情報サービス論	2後			2						兼1
	情報サービス演習A	2前			1						兼1
	情報サービス演習B	2後			1						兼1
	図書館情報資源概論	1後			2						兼1
	情報資源組織論	2後			2						兼1
	情報資源組織演習A	3前			1						兼1
	情報資源組織演習B	3後			1						兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1
読書と豊かな人間性	2前			2						兼1	
図書館情報資源特論	2前			2						兼1	
図書館総合演習	3前			1						兼1	
図書館実習	3前			1						兼1	
小計(18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼6	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2							兼1
	博物館経営論	2後			2							兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2							兼1
	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	博物館資料論	3前			2							兼1
	博物館展示論	3前			2							兼1
	博物館教育論	3後			2							兼1
	博物館資料保存論	4前			2							兼1
	博物館実習Ⅰ	4前			1							兼1
	博物館実習Ⅱ（館務実習）	4後			2							兼1
	美術史Ⅰ	1前			2							兼1
	美術史Ⅱ	1後			2							兼1
	古代学Ⅰ	2前			2							兼1
	古代学Ⅱ	2後			2							兼1
	民俗学Ⅰ	3前			2							兼1
	民俗学Ⅱ	3後			2							兼1
小計（16科目）		—	0	0	31	0	0	0	0	0		兼7
合計（189科目）		—	33	248	114	3	3	0	2	0		兼89

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【英語コミュニケーション学科】

専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「英語コミュニケーションの基礎」20単位以上、「展開と背景的知識Ⅰ（英語文学文化系）」12単位以上、「展開と背景的知識Ⅱ（実用英語系）」8単位以上、「応用と実践」10単位以上、「専門ゼミ」10単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に国際学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・兼任教員退職により、「キャリアデザイン」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・専任教員退職、及び専任教員（助教）准教授昇任により、「基礎ゼミ」の教員配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教3」から「助教1」に変更。
- ・専任教員（助教）の准教授就任により、「外国の文学」の専任教員配置を「助教1」から「助教0」、「准教授0」から「准教授1」の変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「ベーシックラーニング」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・専任教員（助教）の准教授就任により、「ジェンダーと文学」の専任教員配置を「助教1」から「助教0」、「准教授0」から「准教授1」の変更。
- ・時間割調整により、「歴史学」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「漢字・かな文字の変遷」を教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・兼任教員の役職者コマ数減により、「経済の仕組み」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・兼任教員の役職者コマ数減により、「社会の仕組み」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・兼任教員役職者コマ数減により、「20世紀の日本」の配当年次を「1前・後」から「1前」へ変更。
- ・兼任教員役職者コマ数減により、「家族と社会」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「ファッションの文化」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・コロナ感染拡大防止のため「加齢と高齢者の科学」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・兼任教員就任により、「こどもと育児」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・兼任教員退職により授業調整ができなくなったため「社会貢献と実践」休講することにより教員配置を「兼2」から「兼0」に変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「家族とジェンダー」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・コロナ感染拡大防止のため「現代の教育」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「文化遺産に学ぶ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・コロナ感染拡大防止のため「海外語学研修」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更、教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・コロナ感染拡大防止のため「海外文化研修」を休講することにより教員配置を「兼2」から「兼0」に変更。
- ・専任教員就任及び兼任教員の科目調整により、「英語a」の教員配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び兼任教員の科目調整により、「英語b」の教員配置を「助教2」から「助教1」、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教職再課程認定に係る配当年次変更により「生徒・進路指導論」の配当年次を「3前・後」から「2前・後」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員（助教）の准教授昇任により「国際セミナー」の教員配置を「准教授1」から「准教授3」、「講師1」から「講師0」、「助教3」から「助教2」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語演習a」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語演習b」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「海外セミナーA」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員（助教）准教授昇任により「ジェンダー&カルチュラルスタディーズ」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員（助教）准教授昇任により「海外セミナーB」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「ベーシック・ライティングI」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により「ベーシック・ライティングII」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「インテンシブ・イングリッシュ」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「実践英語 I-a」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員（助教）の准教授昇任により「実践英語 I-b」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「実践英語 II-a」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」へ変更。
- ・専任教員（助教）の准教授昇任により「実践英語 II-b」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「映像化された英語文学の世界」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語圏文化概論」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語圏文学 I」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員（助教）の准教授昇任により、「文学と女性」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「近現代と小説」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「プレゼンテーション・スキルズ」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「ビジネス英語 II」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「チュートリアル英語 I」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「チュートリアル英語 II」の教員配置を専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「グローバル・トピックス」の教員配置を専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「TOEIC II」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の昇格により、「英語専門ゼミB」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語専門ゼミD」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任、専任教員（助教）の准教授昇任により、「論文作成ゼミ I」の教員配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教3」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任、専任教員（助教）の准教授昇任により、「論文作成ゼミ II」の教員配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教3」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退及び専任教員就任、専任教員（助教）の准教授昇任により、「卒業論文演習」の教員配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教3」から「助教1」に変更。

【令和3年度】

- ・兼任教員の担当科目調整により、「日本の文学」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「表現と創作」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・兼任教員の役職者コマ数減により、「20世紀の日本」の配当年度を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の役職者コマ数減により、「家族と社会」の配当年度を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「ファッションの文化」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「こどもと育児」の配当年度を「1前・後」から「1後」、教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整により、「社会貢献と実践」の配当年度を「1前」から「1通」に変更。（集中全15回）
- ・兼任教員退職の後任兼任教員着任により、「社会貢献と実践」の教員配置を「兼0」から「兼2」に変更。
- ・コロナ感染防止のため期区分変更したがオンデマンド切り替え「現代の教育」の配当年度を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「女性と美容」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「フィットネス実習」の配当年度を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「海外語学研修」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・コロナ感染拡大防止により、「海外文化研修」の配当年度を「1前・後」から「1通」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「英語b」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・専任教員の就任により、「国際セミナー」の教員配置を「助教2」から「助教3」に変更。
- ・専任教員（助教）の科目調整により、「インテンシブ・イングリッシュ」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「兼任0」から「兼任1」へ変更。
- ・専任教員の就任により、「実践英語1-b」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の就任により、「実践英語1I-b」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・兼任教員退職および兼任教員就任により、「会話と文化」の配当年度を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・専任教員の科目調整により、「異文化コミュニケーション」の配当年度を「2後」から「2前」に変更。
- ・専任教員の科目調整により、「映像化された英語文学の世界」の配当年度を「1前」から「1後」に変更。
- ・専任教員の科目調整のため、「英語圏文化概論」の配当年度を「1後」から「1前」に変更。
- ・兼任教員の科目調整のため、「キリスト教の歴史と文化」の配当年度を「2後」から「2前」に変更。
- ・専任教員就任により、「TOEIC I」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員就任により、「TOEIC III」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の科目調整のため「英語専門ゼミA」の配当年度を「2前」から「2後」に変更。
- ・専任教員の科目調整のため「英語専門ゼミB」の配当年度を「2前」から「2後」に変更。
- ・専任教員の科目調整のため「英語専門ゼミC」の配当年度を「2前」から「2後」に変更、教員配置を「教授1」から「教授0」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・専任教員の科目調整のため「英語専門ゼミD」の教員配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・兼任教員の着任により、「教育行政学」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「特別活動の指導法」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・国際学部教職課程認定申請の兼任教員追加により、「教育の方法と技術」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・国際学部教職課程認定の兼任教員認定人数により、「生徒・進路指導論」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・兼任教員の役職就任のため兼任教員の追加により、「介護等体験」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・時間割調整により、「教職セミナー」の配当年度を「2後」から「2通」に変更。（集中全15回）
- ・兼任教員の役職就任のため兼任教員の追加により、「教職セミナー」の教員配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「学校図書館メディアの構成」の配当年度を「2後」から「2前」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「情報メディアの活用」の配当年度を「2前」から「2後」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「図書館制度・経営論」の配当年度を「2後」から「2前」に変更。
- ・兼任教員の担当科目調整により、「図書館総合演習」の配当年度を「3前」から「3後」に変更。
- ・実習科目の期区分調整により、「博物館実習Ⅰ」の配当年度を「4前」から「4後」に変更。
- ・実習科目の期区分調整により、「博物館実習Ⅱ（館務実習）」の配当年度を「4後」から「4前」に変更。
- ・実習内容の充実を図るため、「博物館実習Ⅱ（館務実習）」の教員配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・配当年度誤表記により、「古代学Ⅰ」の配当年度を「2前」から「1前」に変更。
- ・配当年度誤表記により、「古代学Ⅱ」の配当年度を「2後」から「1後」に変更。

【令和4年度】

- ・専任教員の科目調整により、「基礎ゼミ」教員配置を「教授0」から「教授3」に変更。
- ・時間割調整により、「20世紀の日本」の配当年度を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・時間割調整により、「家族と社会」の配当年度を「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割調整により、「加齢と高齢者の科学」の配当年度を「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割調整により、「こどもと育児」の配当年度を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・兼任教員の採用により、「こどもと育児」の教員配置の「兼1」から「兼2」に変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「看護の知識」の教員配置の「兼6」から「兼4」に変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「現代の教育」の教員配置の「兼2」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整により、「女性と美容」の配当年度を「1前」から「1前・後」に修正。
- ・兼任教員の科目調整により、「健康の科学」の教員配置の「兼4」から「兼1」に変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「フィットネス実習」の教員配置の「兼3」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整により、「海外語学研修」の配当年度を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・配当年度誤表記により、「情報サービス演習A」の配当年度を「2前」から「3前」に変更。
- ・配当年度誤表記により、「情報サービス演習B」の配当年度を「2後」から「3後」に変更。
- ・時間割調整により、「読書と豊かな人間性」の配当年度を「2前」から「2後」に変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「国際セミナー」の教員配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・専任教員の科目調整により、「英語演習b」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「実践フランス語Ⅰ」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・兼任教員の退職により、「実践フランス語Ⅰ」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・兼任教員の退職により、「実践スペイン語Ⅰ」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・兼任教員の退職により、「実践スペイン語Ⅰ」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・専任教員の科目調整により、「ペーシック・ライティングⅠ」の教員配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼0」から「兼1」へ変更。
- ・専任教員の科目調整および兼任教員の就任により、「インテンシブ・イングリッシュ」の教員配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」、「兼任1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整により、「英語圏文化概論」の配当年度を「1前」から「1後」へ変更。
- ・兼任教員の退職により、「英語の歴史」の教員を兼任教員へ変更。
- ・時間割調整により、「キリスト教の歴史と文化」の配当年度を「2前」から「2後」へ変更。
- ・兼任教員の退職により、「外国語としての日本語Ⅰ」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・兼任教員の退職により、「外国語としての日本語Ⅰ」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「ビジネス英語Ⅰ」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・専任教員の科目調整および兼任教員の就任により、「グローバル・トピックス」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「兼0」から「兼1」へ変更。
- ・兼任教員の退職により、「国際交流a」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・兼任教員の退職により、「国際交流b」の教員を別兼任教員へ変更。
- ・兼任教員の科目調整により、「チュートリアル英語Ⅲ」を兼任1から兼任1と兼任1に変更。
- ・時間割調整により「英語専門ゼミB」の配当年度を「2後」から「2前」に変更。
- ・専任教員の科目調整により、「論文作成ゼミⅠ」の教員を「准教授2」から「准教授3」へ変更。
- ・専任教員の科目調整により、「操業論文演習」の教員を「准教授2」から「准教授3」へ変更。
- ・専任教員の科目調整により、「英語科教育Ⅰ」の教員を「教授1」から「教授0」、「兼任1」に変更。
- ・専任教員の科目調整により、「英語科教育Ⅰ」の教員を「教授1」から「教授0」、「兼任1」に変更。

【令和5年度】

- ・専任教員の科目調整により、「基礎ゼミ」の教員配置を「教授3」から「教授0」へ変更。
 - ・兼任教員の採用及び兼任教員の科目調整により、「パソコンの基礎と応用」の教員配置を「兼4」から「兼3」に変更。
 - ・兼任教員の採用により、「ベーシックラーニング」の教員配置を「兼3」から「兼4」に変更。
 - ・時間割調整により、「こんにちの文化」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
 - ・時間割調整により、「家族と社会」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
 - ・時間割調整により、「こどもと育児」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
 - ・兼任教員の退職及び兼任教員の科目調整により、「フィットネス実習」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - ・時間割調整により、「海外語学研修」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
 - ・専任教員の科目調整により、「海外語学研修」の教員配置を「助教1」から「教授1」へ変更。
 - ・兼任教員の科目調整により「海外文化研修」の教員配置を「兼0」から「兼1」に変更。
 - ・専任教員の科目調整により、「英語b」の教員配置を「助教1」から「准教授1」へ変更。
 - ・兼任教員の退職により、「教育の方法と技術」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - ・配当年次誤表記により、「生徒・進路指導論」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
 - ・配当年次誤表記により、「教育相談」の配当年次を「3前・後」から「3前」に変更。
-
- ・「英語演習a」の対象学科を国際学部から英語コミュニケーション学科対象科目とすることによるクラス数減により、教員配置を「専任2」、「兼任1」から「専任1」、「兼任1」に変更。
 - ・「英語演習b」の対象学科を国際学部から英語コミュニケーション学科対象科目とすることによるクラス数減により、教員配置を「専任2」、「兼任1」、「兼任1」から「専任1」、「兼任1」に変更。
 - ・兼任教員の退職により、「国際社会文化の基礎（国際関係・交流論）」の教員を「兼任1」から「兼任1」に変更。
 - ・兼任教員の科目調整により、「国際社会文化の基礎（現代社会）」の休講を「兼任1」に変更。
 - ・兼任教員の退職により、「ベーシック・ライティングⅠ」の教員を別兼任教員へ変更。
 - ・兼任教員の退職により、「プレゼンテーションスキルズ」の教員を別兼任教員へ変更。
 - ・兼任教員の退職により、「ベーシック・ライティングⅠ」の教員を別兼任教員へ変更。
 - ・兼任教員の退職により、「チュートリアル英語Ⅲ」の教員を別兼任教員へ変更。
 - ・兼任教員の退職により、「グローバルトピックス」の教員を別兼任教員へ変更。
 - ・兼任教員の科目調整により、「英語科教育論Ⅰ」を「兼任1」から「専任1」に変更。
 - ・専任教員の科目調整により、「英語科教育法Ⅱ」を「専任1」から「兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	111 科目	60 科目	189 科目	18 科目 []	111 科目 []	60 科目 []	189 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{189} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	9,938 m ²	34,404 m ²	4,711 m ²	49,053 m ²			
	運動場用地	80,548 m ²	11,509 m ²	5,170 m ²	97,227 m ²	和洋国府台女子中 学・高等学校(必要面 積18,193m ²)と共用 (収容定員：中学360 人680人、高等学校 720人+070人)収容定 員変更に伴う修正(4)		
	小 計	90,486 m ²	45,913 m ²	9,881 m ²	146,280 m ²			
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²			
合 計	90,486 m ²	45,913 m ²	9,881 m ²	146,280 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	50,544m ² (50,544m ²)	2,757m ² (2,757m ²)	1,564m ² (1,564m ²)	54,865m ² (54,865m ²)	和洋国府台女子中 学・高等学校(必要面 積18,193m ²)と共用 (収容定員：中学360 人680人、高等学校 720人+070人)収容定 員変更に伴う修正(4)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	43 室	27 室	36 室	6 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		教員数増加に伴う修正 (4) 教員数増加に伴う修正 (5)		
	国際学部 英語コミュニケーション学科			10 9 8 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・視聴覚は再精査の 結果、修正した。(2)
		28,764 [16,224] 28,641 [16,160] 28,697 [16,187] 28,660 [16,195]	161 [109]	0 [0]	814 797 790 783	0	0	
	(28,764 [16,224]) (28,641 [16,160]) (28,697 [16,187]) (28,660 [16,195])	(161 [109])	(0 [0])	(814) (797) (790) (783)	(0)	(0)	図書・視聴覚は再精査の 結果、修正した。(5)	
	28,764 [16,224] 28,641 [16,160] 28,697 [16,187] 28,660 [16,195]	161 [109]	0 [0]	814 797 790 783	0	0		
計	(28,764 [16,224]) (28,641 [16,160]) (28,697 [16,187]) (28,660 [16,195])	(161 [109])	(0 [0])	(814) (797) (790) (783)	(0)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧席数		取 納 可 能 冊 数		収納可能冊数は再精査の 結果、修正した(2)	
	3,673m ²		400		321,224 278,611			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	6,005m ²		-					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費については、再精査の 結果、修正した。なお図書購入費 には電子ジャーナル、データベース 購入費を含む。(2) 共同研究費等：研究費の算出 方法変更(2) 共同研究費等：科研費の採択 額の増額(3) 科研費の採択額の増額による (4) 科研費の採択額の増額による (5)
		教員1人当たり研究費等	250千円	250千円	図書購入費	1,465千円 1,728千円	1,465千円 1,728千円	
	共同研究費等	1,100千円 592千円 80千円 70千円 1,031千円	1,100千円 592千円 80千円 70千円 1,031千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当 り納付金	第1年次 1,230千円	第2年次 980千円	第3年次 980千円	第4年次 980千円	第5年次 一千円	第6年次 一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入 他					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	和洋女子大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
人文学部	4	240	-	960	-	0.99	-	0.99	-	-	平成20	-						
国際学科	4	-	-	-	学士(文学)(教養)	-	-	-	-	-	平成26	千葉県市川市国府台2-3-1	令和2年学生募集停止					
日本文学文化学科	4	110	-	440	学士(文学)	0.98	-	1.00	-	-	平成20	同上						
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)	1.14	-	1.14	-	-	平成26	同上						
こども発達学科	4	70	-	280	学士(教育学)	0.87	-	0.87	-	-	平成26	同上						
国際学部	4	120	-	480	-	0.81	-	0.78	-	-	令和2	-						
英語コミュニケーション学科	4	60	-	240	学士(英語コミュニケーション)	0.76	-	0.75	-	-	令和2	同上						
国際学科	4	60	-	240	学士(国際)	0.85	-	0.82	-	-	令和2	同上						
家政学部	4	290	-	1160	-	0.88	-	0.87	-	-	平成20	-						
服飾造形学科	4	60	-	240	学士(家政学)	0.88	-	0.86	-	-	平成20	同上						
健康栄養学科	4	120	-	480	学士(家政学)	1.04	-	1.03	-	-	平成20	同上						
家政福祉学科	4	110	-	440	学士(家政学)	0.70	-	0.70	-	-	平成20	同上						
看護学部	4	100	-	400	-	1.01	-	1.02	-	-	平成30	-						
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.01	-	1.02	-	-	平成30	千葉県市川市国府台2-1-18						
大学全体	4	750	-	3000	-	0.92	-	-	-	-	-	-						

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		比 るりこ <令和3年4月>		比 るりこ <令和3年4月>
					国際セミナー 英語検定1-5 英語検定2-5 TOEIC I TOEIC Ⅱ		国際セミナー 英語検定1-5 英語検定2-5 TOEIC I TOEIC Ⅱ
			山本 貴重 <令和2年4月>		山本 貴重 <令和2年4月>		山本 貴重 <令和2年4月>
			専任 助教 英語 国際セミナー 英語検定 パソコン・ライティングⅠ パソコン・ライティングⅡ 英語検定1-4 英語検定1-5 ビジネス英語Ⅰ チュートリアル英語Ⅰ グローバル・ビジネス		専任 助教 海外留学研修 英語 国際セミナー 英語検定 パソコン・ライティングⅠ パソコン・ライティングⅡ 英語検定1-4 英語検定1-5 ビジネス英語Ⅰ チュートリアル英語Ⅰ グローバル・ビジネス		専任 助教 海外留学研修 英語 国際セミナー 英語検定 パソコン・ライティングⅠ パソコン・ライティングⅡ 英語検定1-4 英語検定1-5 ビジネス英語Ⅰ チュートリアル英語Ⅰ グローバル・ビジネス
専任 教授	小沢 哲史 <令和2年4月>	兼任 教授	小沢 哲史 <令和2年4月>	兼任 教授	小沢 哲史 <令和2年4月>	兼任 教授	小沢 哲史 <令和2年4月>
	人間の発達		人間の発達		人間の発達		人間の発達
兼任 教授	聖谷 要 <令和2年4月>	兼任 教授	聖谷 要 <令和2年4月>	兼任 教授	聖谷 要 <令和2年4月>	兼任 教授	聖谷 要 <令和2年4月>
	パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想		パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想		パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想		パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想
兼任 教授	加藤 崇謙 <令和2年4月>	兼任 助教	加藤 崇謙 <令和2年4月>	兼任 助教	加藤 崇謙 <令和2年4月>	兼任 助教	加藤 崇謙 <令和2年4月>
	文化遺産に学ぶ 博物館論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ(館務実習)		文化遺産に学ぶ 博物館論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ(館務実習)		文化遺産に学ぶ 博物館論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ(館務実習)		文化遺産に学ぶ 博物館論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ(館務実習)
兼任 教授	金丸 裕志 <令和2年4月>	兼任 教授	金丸 裕志 <令和2年4月>	兼任 教授	金丸 裕志 <令和2年4月>	兼任 教授	金丸 裕志 <令和2年4月>
	20世紀の日本 国際社会文化の基礎(現代政治)		20世紀の日本 国際社会文化の基礎(現代政治)		20世紀の日本 国際社会文化の基礎(現代政治)		20世紀の日本 国際社会文化の基礎(現代政治)
兼任 教授	金子 健彦 <令和2年4月>	兼任 教授	金子 健彦 <令和2年4月>	兼任 教授	金子 健彦 <令和2年4月>	兼任 教授	金子 健彦 <令和2年4月>
	女性と美容		女性と美容		女性と美容		女性と美容
兼任 教授	小林 勉 <令和2年4月>	兼任 教授	小林 勉 <令和2年4月>	兼任 教授	小林 勉 <令和2年4月>	兼任 教授	小林 勉 <令和2年4月>
	住まいとデザイン		住まいとデザイン		住まいとデザイン		住まいとデザイン
兼任 教授	柴内 靖 <令和2年4月>	兼任 教授	柴内 靖 <令和2年4月>	兼任 教授	柴内 靖 <令和2年4月>	兼任 教授	柴内 靖 <令和2年4月>
	教職入門 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 生徒・進路指導 教育実習事前事後指導 教育実習 教職セミナー		教職入門 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 生徒・進路指導 教育実習事前事後指導 教育実習 教職セミナー		教職入門 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 生徒・進路指導 教育実習事前事後指導 教育実習 教職セミナー		教職入門 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 生徒・進路指導 教育実習事前事後指導 教育実習 教職セミナー
兼任 教授	庄司 紀佳 <令和2年4月>						
	加齢と高齢者の科学						
兼任 教授	白鳥 孝子 <令和2年4月>	兼任 教授	白鳥 孝子 <令和2年4月>	兼任 教授	白鳥 孝子 <令和2年4月>	兼任 教授	白鳥 孝子 <令和2年4月>
	看護の知識※		看護の知識※		看護の知識※		看護の知識※
兼任 教授	新谷 奈苗 <令和2年4月>	兼任 教授	新谷 奈苗 <令和2年4月>	兼任 教授	新谷 奈苗 <令和2年4月>	兼任 教授	新谷 奈苗 <令和2年4月>
	看護の知識※		看護の知識※		看護の知識※		看護の知識※
兼任 教授	杉浦 功一 <令和2年4月>	兼任 教授	杉浦 功一 <令和2年4月>	兼任 教授	杉浦 功一 <令和2年4月>	兼任 教授	杉浦 功一 <令和2年4月>
	国際関係入門 国際社会文化の基礎(国際関係・交流論)		国際関係入門 国際社会文化の基礎(国際関係・交流論)		国際関係入門 国際社会文化の基礎(国際関係・交流論)		国際関係入門 国際社会文化の基礎(国際関係・交流論)
兼任 教授	鈴木 夏子 <令和2年4月>	兼任 教授	鈴木 夏子 <令和2年4月>	兼任 教授	鈴木 夏子 <令和2年4月>	兼任 教授	鈴木 夏子 <令和2年4月>
	生命と医療の倫理		生命と医療の倫理		生命と医療の倫理		生命と医療の倫理
兼任 教授	高梨 一彦 <令和2年4月>	兼任 教授	高梨 一彦 <令和2年4月>	兼任 教授	高梨 一彦 <令和2年4月>	兼任 教授	高梨 一彦 <令和2年4月>
	教育相談		教育相談		教育相談		教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢・年令) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢・年令) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢・年令) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月>	健康と食生活	兼任	准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月>	健康と食生活	兼任	准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月>	健康と食生活
兼任	准教授	寺島 瞳 <令和2年4月>	心理の科学	兼任	准教授	寺島 瞳 <令和2年4月>	心理の科学				
兼任	准教授	山本 高美 <令和2年4月>	パソコンの基礎と応用 服装の科学	兼任	准教授	山本 高美 <令和2年4月>	パソコンの基礎と応用 服装の科学	兼任	准教授	山本 高美 <令和2年4月>	服装の科学
兼任	准教授	弓削田 綾乃 <令和2年4月>	健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習	兼任	准教授	弓削田 綾乃 <令和2年4月>	健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習	兼任	准教授	弓削田 綾乃 <令和2年4月>	スポーツ実習 フィットネス実習
兼任	講師	永岡 裕康 <令和2年4月>	パソコンの基礎と応用	兼任	講師	永岡 裕康 <令和2年4月>	パソコンの基礎と応用	兼任	講師	永岡 裕康 <令和2年4月>	パソコンの基礎と応用
兼任	講師	Langley Dara Francis <令和2年4月>	英語 英語演習 トラベリングイングリッシュII チュートリアル英語II	兼任	講師	Langley Dara Francis <令和2年4月>	英語 英語演習 トラベリングイングリッシュII チュートリアル英語II	兼任	講師	Langley Dara Francis <令和2年4月>	英語 英語演習 トラベリングイングリッシュII チュートリアル英語II
兼任	助教	坂垣 武尊 <令和2年4月>	国際異文化理解論	兼任	助教	坂垣 武尊 <令和2年4月>	国際異文化理解論	兼任	助教	坂垣 武尊 <令和2年4月>	国際異文化理解論
兼任	助教	内田 翔大 <令和2年4月>	英語b 英語演習b ことばと社会 英文法I 英文法II ビジネス英語I 論文作成ゼミI 論文作成ゼミII 卒業論文演習	兼任	助教	内田 翔大 <令和2年4月>	英語b 英語演習b ことばと社会 英文法I 英文法II ビジネス英語I 論文作成ゼミI 論文作成ゼミII 卒業論文演習	兼任	助教	内田 翔大 <令和2年4月>	英語b 英語演習b ことばと社会 英文法I 英文法II ビジネス英語I 論文作成ゼミI 論文作成ゼミII 卒業論文演習
兼任	助教	梅山 聡 <令和2年4月>	日本の文学	兼任	助教	梅山 聡 <令和2年4月>	日本の文学	兼任	助教	梅山 聡 <令和2年4月>	日本の文学
兼任	助教	大塚 千砂子 <令和2年4月>	ベーシックラーニング	兼任	助教	大塚 千砂子 <令和2年4月>	ベーシックラーニング	兼任	助教	大塚 千砂子 <令和2年4月>	ベーシックラーニング
兼任	助教	小野 真嗣 <令和2年4月>	博物館資料論 古代学I 古代学II	兼任	助教	小野 真嗣 <令和2年4月>	博物館資料論 古代学I 古代学II	兼任	助教	小野 真嗣 <令和2年4月>	博物館資料論 古代学I 古代学II
兼任	助教	織田 奈穂子 <令和2年4月>	ファッションの文化	兼任	助教	織田 奈穂子 <令和2年4月>	ファッションの文化	兼任	助教	織田 奈穂子 <令和2年4月>	ファッションの文化
兼任	助教	上村 明 <令和2年4月>	健康の科学 スポーツ実習	兼任	助教	上村 明 <令和2年4月>	健康の科学 スポーツ実習	兼任	助教	上村 明 <令和2年4月>	健康の科学 スポーツ実習
兼任	助教	桑原 里実 <令和2年4月>	看護の知識※	兼任	助教	桑原 里実 <令和2年4月>	看護の知識※	兼任	助教	桑原 里実 <令和2年4月>	看護の知識※
兼任	助教	中村 光絵 <令和2年4月>	現代の教育								
兼任	助教	永澤 貴昭 <令和2年4月>	健康の科学	兼任	助教	永澤 貴昭 <令和2年4月>	健康の科学	兼任	助教	永澤 貴昭 <令和2年4月>	健康の科学
				兼任	教授	加藤 文代 <令和2年9月>	生命と医療の倫理	兼任	教授	加藤 文代 <令和2年9月>	生命と医療の倫理
				兼任	教授	福井 久美代 <令和3年4月>	教育概論	兼任	教授	福井 久美代 <令和3年4月>	教育概論
				兼任	教授	長原 安子 <令和3年4月>	家族とジェンダー	兼任	教授	長原 安子 <令和3年4月>	家族とジェンダー
				兼任	教授	田代 朝典 <令和2年4月>	現代 朝典	兼任	教授	田代 朝典 <令和2年4月>	現代 朝典
				兼任	教授	こどもと育児	こどもと育児	兼任	教授	こどもと育児	こどもと育児
				兼任	教授	竹内 久美子 <令和4年4月>	看護の知識※	兼任	教授	竹内 久美子 <令和4年4月>	看護の知識※

専任・兼任の別	氏名 (年齢・年令) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢・年令) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢・年令) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢・年令) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢・年令) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任	奥田 瑠 <令和2年4月>	講師	奥田 瑠 <令和2年4月>	講師	奥田 瑠 <令和2年4月>	講師	奥田 瑠 <令和2年4月>	講師	奥田 瑠 <令和2年4月>	講師
	博物館展示論		博物館展示論		博物館展示論		博物館展示論		博物館展示論	
兼任	廣倉 壮史 <令和2年4月>	講師	廣倉 壮史 <令和2年4月>	講師	廣倉 壮史 <令和2年4月>	講師	廣倉 壮史 <令和2年4月>	講師	廣倉 壮史 <令和2年4月>	講師
	漢字・かな文字の変遷		漢字・かな文字の変遷		漢字・かな文字の変遷		漢字・かな文字の変遷		漢字・かな文字の変遷	
兼任	加藤 はるか <令和2年4月>	講師	加藤 はるか <令和2年4月>	講師	加藤 はるか <令和2年4月>	講師	加藤 はるか <令和2年4月>	講師	加藤 はるか <令和2年4月>	講師
	歴史学		歴史学		歴史学		歴史学		歴史学	
兼任	加藤 将典 <令和2年4月>	講師	加藤 将典 <令和2年4月>	講師	加藤 将典 <令和2年4月>	講師	加藤 将典 <令和2年4月>	講師	加藤 将典 <令和2年4月>	講師
	パソコンの基礎と応用		パソコンの基礎と応用		パソコンの基礎と応用 経済の仕組み		パソコンの基礎と応用 経済の仕組み		パソコンの基礎と応用 経済の仕組み	
兼任	門脇 由紀子 <令和2年4月>	講師	門脇 由紀子 <令和2年4月>	講師	門脇 由紀子 <令和2年4月>	講師	門脇 由紀子 <令和2年4月>	講師	門脇 由紀子 <令和2年4月>	講師
	キリスト教の歴史と文化		キリスト教の歴史と文化		キリスト教の歴史と文化		キリスト教の歴史と文化		キリスト教の歴史と文化	
兼任	金塚 基 <令和2年4月>	講師	金塚 基 <令和2年4月>	講師	金塚 基 <令和2年4月>	講師	金塚 基 <令和2年4月>	講師	金塚 基 <令和2年4月>	講師
	生涯学習概論		生涯学習概論		生涯学習概論		生涯学習概論		生涯学習概論	
兼任	川崎 亮 <令和2年4月>	講師	川崎 亮 <令和2年4月>	講師	川崎 亮 <令和2年4月>	講師	川崎 亮 <令和2年4月>	講師	川崎 亮 <令和2年4月>	講師
	手書き文字の世界		手書き文字の世界		手書き文字の世界		手書き文字の世界		手書き文字の世界	
兼任	本野 美子 <令和2年4月>	講師								
	日本語a-I 日本語a-II 日本語b-I 日本語b-II									
兼任	金 順任 <令和2年4月>	講師	金 順任 <令和2年4月>	講師	金 順任 <令和2年4月>	講師	金 順任 <令和2年4月>	講師	金 順任 <令和2年4月>	講師
	実践韓国語 I 実践韓国語 II		実践韓国語 I 実践韓国語 II		実践韓国語 I 実践韓国語 II		実践韓国語 I 実践韓国語 II		実践韓国語 I 実践韓国語 II	
兼任	金 龍典 <令和2年4月>	講師					金 龍典 <令和4年4月>		金 龍典 <令和2年4月>	
	海外文化研修						海外文化研修		海外文化研修	
兼任	香山 綾子 <令和2年4月>	講師	香山 綾子 <令和2年4月>	講師	香山 綾子 <令和2年4月>	講師	香山 綾子 <令和2年4月>	講師	香山 綾子 <令和2年4月>	講師
	生命の科学		生命の科学		生命の科学		生命の科学		生命の科学	
兼任	神戸 万知 <令和2年4月>	講師	神戸 万知 <令和2年4月>	講師	神戸 万知 <令和2年4月>	講師	神戸 万知 <令和2年4月>	講師	神戸 万知 <令和2年4月>	講師
	日英語比較演習 (翻訳・通訳)		英語 読解演習 日英語比較演習 (翻訳・通訳)		英語 読解演習 日英語比較演習 (翻訳・通訳)		英語 読解演習 日英語比較演習 (翻訳・通訳)		日英語比較演習 (翻訳・通訳)	
兼任	小林 聡 <令和2年4月>	講師	小林 聡 <令和2年4月>	講師	小林 聡 <令和2年4月>	講師	小林 聡 <令和2年4月>	講師	小林 聡 <令和2年4月>	講師
	民俗学 I 民俗学 II		民俗学 I 民俗学 II		民俗学 I 民俗学 II		民俗学 I 民俗学 II		民俗学 I 民俗学 II	
兼任	小室 敬幸 <令和2年4月>	講師	小室 敬幸 <令和2年4月>	講師	小室 敬幸 <令和2年4月>	講師	小室 敬幸 <令和2年4月>	講師	小室 敬幸 <令和2年4月>	講師
	音楽の歴史 音楽の楽しみ		音楽の歴史 音楽の楽しみ		音楽の歴史 音楽の楽しみ		音楽の歴史 音楽の楽しみ		音楽の歴史 音楽の楽しみ	
兼任	齋藤 淑子 <令和2年4月>	講師	齋藤 淑子 <令和2年4月>	講師	齋藤 淑子 <令和2年4月>	講師	齋藤 淑子 <令和2年4月>	講師	齋藤 淑子 <令和2年4月>	講師
	児童サービス論		児童サービス論		児童サービス論		児童サービス論		児童サービス論	
兼任	酒井 博美 <令和2年4月>	講師	酒井 博美 <令和2年4月>	講師						
	心理の科学		心理の科学							
兼任	坂本 成生 <令和2年4月>	講師	坂本 成生 <令和2年4月>	講師					坂本 成生 <令和5年4月>	
	図書館情報技術論 図書館サービス概論		図書館情報技術論 図書館サービス概論						情報サービス講習会 図書館情報技術論 情報サービス概論 情報サービス講習会	
兼任	白川 盛治 <令和2年4月>	講師	白川 盛治 <令和2年4月>	講師	白川 盛治 <令和2年4月>	講師	白川 盛治 <令和2年4月>	講師	白川 盛治 <令和2年4月>	講師
	教育行政学		教育行政学		教育行政学		教育行政学		教育行政学	
兼任	菅原 令子 <令和2年4月>	講師	菅原 令子 <令和2年4月>	講師			菅原 令子 <令和4年4月>		菅原 令子 <令和4年4月>	
	哲学への誘い		哲学への誘い				哲学への誘い		哲学への誘い	
兼任	高久田 佳津子 <令和2年4月>	講師	高久田 佳津子 <令和2年4月>	講師	高久田 佳津子 <令和2年4月>	講師	高久田 佳津子 <令和2年4月>	講師	高久田 佳津子 <令和2年4月>	講師
	英語の歴史		英語の歴史		英語の歴史		英語の歴史		英語の歴史	
兼任	高瀬 愛 <令和2年4月>	講師	高瀬 愛 <令和2年4月>	講師	高瀬 愛 <令和2年4月>	講師	高瀬 愛 <令和2年4月>	講師	高瀬 愛 <令和2年4月>	講師
	言語と文化 外国語としての日本語 I 外国語としての日本語 II 国際交流a 国際交流b		言語と文化 外国語としての日本語 I 外国語としての日本語 II 国際交流a 国際交流b		外国語としての日本語 I 外国語としての日本語 II 国際交流a 国際交流b		外国語としての日本語 I 外国語としての日本語 II 国際交流a 国際交流b		外国語としての日本語 I 外国語としての日本語 II 国際交流a 国際交流b	
兼任	千葉 昇 <令和3年4月>	講師	千葉 昇 <令和3年4月>	講師	千葉 昇 <令和3年4月>	講師	千葉 昇 <令和3年4月>	講師	千葉 昇 <令和3年4月>	講師
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任 講師	戸田 豊和 <令和2年4月> キャリアデザイン						
兼任 講師	奈良 玲子 <令和2年4月> キャリアデザイン	兼任 講師	奈良 玲子 <令和2年4月> キャリアデザイン				
兼任 講師	鎌波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習	兼任 講師	鎌波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習	兼任 講師	鎌波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習	兼任 講師	鎌波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習
兼任 講師	新倉 慎右 <令和2年4月> 実務士I 実務士II						
兼任 講師	西巻 悦子 <令和2年4月> 情報サービス論 情報サービス実習A 情報サービス実習B	兼任 講師	西巻 悦子 <令和2年4月> 情報サービス論 情報サービス実習A 情報サービス実習B				
兼任 講師	野村 勝彦 <令和2年4月> 特別支援教育論 教育の方法と技術	兼任 講師	野村 勝彦 <令和2年4月> 特別支援教育論 教育の方法と技術	兼任 講師	野村 勝彦 <令和2年4月> 特別支援教育論 教育の方法と技術	兼任 講師	野村 勝彦 <令和2年4月> 特別支援教育論 教育の方法と技術
兼任 講師	夏田 信彦 <令和2年4月> 英語圏の児童文学 イギリスの社会と文化	兼任 講師	夏田 信彦 <令和2年4月> 英語圏の児童文学 イギリスの社会と文化	兼任 講師	夏田 信彦 <令和2年4月> 英語圏の児童文学 イギリスの社会と文化 英語と文化	兼任 講師	夏田 信彦 <令和2年4月> 英語圏の児童文学 イギリスの社会と文化 英語と文化
兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権	兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権	兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権	兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権
兼任 講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月> 実践スペイン語I 実践スペイン語II	兼任 講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月> 実践スペイン語I 実践スペイン語II	兼任 講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月> 実践スペイン語I 実践スペイン語II	兼任 講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月> 実践スペイン語I 実践スペイン語II
		兼任 教授	原守はるみ <令和2年4月> こどもと育児				
				兼任 講師	阿久津 勝利 <令和3年4月> 介護等体験	兼任 講師	阿久津 勝利 <令和3年4月> 介護等体験
				兼任 講師	阿久津 勝利 <令和3年4月> 介護等体験	兼任 講師	阿久津 勝利 <令和3年4月> 介護等体験
				兼任 講師	奈良 玲子 <令和4年4月> こどもと育児		
				兼任 講師	江良 智美 <令和4年4月> こんにもの文化	兼任 講師	江良 智美 <令和4年4月> こんにもの文化
				兼任 講師	大野 孝史 <令和3年4月> 特別支援論の指導法	兼任 講師	大野 孝史 <令和3年4月> 特別支援論の指導法
				兼任 講師	川崎 つぶら <令和4年4月> 外国語としての日本語I 外国語としての日本語II	兼任 講師	川崎 つぶら <令和4年4月> 外国語としての日本語I 外国語としての日本語II
				兼任 講師	川崎 麗華 <令和4年4月> 英語I 英語II	兼任 講師	川崎 麗華 <令和4年4月> 英語I 英語II
		兼任 講師	倉八 真子 <令和2年4月> 日本語e-I 日本語e-II 日本語b-I				
				兼任 講師	小井 玲那美 <令和3年4月> 習字への願い		
		兼任 講師	藤 結 <令和2年4月> 実践中国語I 実践中国語II	兼任 講師	藤 結 <令和2年4月> 実践中国語I 実践中国語II	兼任 講師	藤 結 <令和2年4月> 実践中国語I 実践中国語II
				兼任 講師	佐藤 潔 <令和3年4月> 女性と読書	兼任 講師	佐藤 潔 <令和3年4月> 女性と読書
				兼任 講師	鈴木 一生 <令和3年4月> 児童館情報教育論 情報サービス論 情報サービス実習A 情報サービス実習B	兼任 講師	鈴木 一生 <令和3年4月> 児童館情報教育論 情報サービス論 情報サービス実習A 情報サービス実習B
				兼任 講師	高瀬 智生 <令和3年4月> 敬職セミナー	兼任 講師	高瀬 智生 <令和3年4月> 敬職セミナー

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
6	3
名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
3	1	1	3	8	0	3	3	0	3	9	0
(3)	(2)	(0)	(3)	(8)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
3	3	0	3	9	0	3	3	0	3	9	0
[0]	[2]	[Δ1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[2]	[Δ1]	[0]	[1]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{8} = \boxed{112.5} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要専任教員数
●●	●●	●●
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)			(●●)	(●●)	(●●)	(●●)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
(●●)	(●●)	[]	[]			(●●)	(●●)	[]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を要書済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、**
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
●●	●●	●●
名	名	名

(注)・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文科省告示第五十三号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)			(●●)	(●●)	(●●)	(●●)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
[]	[]	[]	[]			[]	[]	[]	[]		

(注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注)・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{} - \boxed{} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
●●	●●	●●	●●
名	名	名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一イ(2)及び第四十二条の六、専門職大学設置基準別表第一イ及び第三十六条、専門職短期大学設置基準別表第一イ及び第三十三条により算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)
専任教員数(専)	専任教員数(実専)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数	専任教員数(専)	専任教員数(実専)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数				
●●	●●	●●		●●	●●	●●				●●	
(●●)	(●●)	(●●)		(●●)	(●●)	(●●)				(●●)	
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
専任教員数(専)	専任教員数(実専)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数	専任教員数(専)	専任教員数(実専)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数				
●●	●●	●●		●●	●●	●●				●●	
[]	[]	[]		[]	[]	[]				[]	

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要せずあり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
 なお、みなし専任教員(実み)がある場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = $\frac{\text{●●}}{\text{●●}}$ = #VALUE! %

設置時の計画(A)

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = $\frac{\text{●●}}{\text{●●}}$ = #VALUE! %

現在(報告時)の状況(B)

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = $\frac{\text{●●}}{\text{●●}}$ = - %

設置時の計画(A')

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	講師	Brett James Davies	R元. 12	必修	英語a	①	R元. 12一身上の都合のため就任辞退（2）		
				必修	国際セミナー	①			
				必修	英語演習a	①			
				必修	ベーシック・ライティングI	②			
				選択	ベーシック・ライティングII	①			
				必修	インテンシブ・イングリッシュ	①			
				必修	実践英語 I-a	①			
				必修	実践英語 II-a	①			
				必修	プレゼンテーション・スキルズ	②			
				選択	ビジネス英語 II	①			
				選択	チュートリアル英語 I	①			
				選択	チュートリアル英語 II	①			
				選択	グローバル・トピックス	②			
2	助教	井上 博之	R元. 9	必修	基礎ゼミ	①	R元. 9一身上の都合のため就任辞退（2）		
				必修	英語b	①			
				必修	国際セミナー	①			
				必修	英語演習b	①			
				選択	海外セミナーA	①			
				選択	映像化された英語文学の世界	①			
				選択	英語圏文化概論	①			
				選択	英語圏文学 I	①			
				選択	近現代と小説	①			
				選択	TOEIC II	①			
				選択	英語専門ゼミD	①			
				必修	論文作成ゼミ I	①			
				必修	論文作成ゼミ II	①			
必修	卒業論文演習	①							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	15 科目	必修	13 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	11 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	27 科目	計	24 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	15 科目	必修	13 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	11 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	27 科目	計	24 科目	計	3 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{2}{8} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和元年9月及び同12月に就任辞退のあった専任教員2名(講師1名と助教1名)について、令和2年4月に准教授1名、助教1名の補充を行った。補充となった当該教員2名は辞退となった教員2名とそれぞれ同じ専門分野(英語圏文化・文学、英語教育法)で実績があり、学部教育課程の構造に影響を及ぼすものではない。本学部の英語コミュニケーション学科会議を実質的な単位として、教育計画上の引継ぎを行っている。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、ガイダンス時に教員紹介を行い、周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 英語コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成30年度からは、全体協議会を廃して新設した「大学評議会」にて、FD・SDの計画と実施及び自己点検を、引き続き担当している。 ※別添「和洋女子大学大学評議会規程」</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>大学評議会は、学長が議長となり、月2回開催することになっている。構成員は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、国際交流センター長、教職教育支援センター長、学術情報センター長、事務局長、事務局次長、事務局各部長をもって構成する。 令和4年度は合計19回開催され、全員が出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>審議事項は、大学の運営に関わる事項についてである。特に次の事項については、担当制とし、責任をもって行うこととしている。①大学認証評価、②教員の活動実践の点検、高大接続、④目標と計画(2年計画)、⑤授業評価アンケート、⑥学生生活アンケート、⑦FD・SD企画立案</p> <p>② 実施状況</p> <p>全学FD・SDの開催状況</p> <p>第1回目：令和4年4月26日 内容：新任教員に対する本学の教育理念ほかについて 講師：学長・学部長 出席者：11名（出席率91.7%）</p> <p>第2回目：令和4年6月28日 内容：和洋女子大学の中期計画ー将来のグランドデザインについてー 講師：岸田学長 出席者：125名（出席率94.0%）</p> <p>第3回目：令和4年10月25日 出席者：125名（出席率94.0%） 内容：①教育振興支援助成事業に関する報告について 講師：こども発達学科 金井准教授 内容：②「本学のデジタル化対応（DX）についてーその現状・課題・展望」 講師：デジタル化対応プロジェクトチーム第2期（DXPT2.0）メンバー（代表：金丸副学長）</p> <p>国際学部英語コミュニケーション学科FDの開催状況</p> <p>国際学部FD：令和4年11月8日 内容：学部語学・資格調査結果とリメディアル教育について 座長：国際学部長 出席者：15名（出席率100%）</p> <p>英語コミュニケーション学科FD：令和4年6月19日 内容：2021年度入試の総括と2022年度入試作問のスケジュールについて 講師：英語コミュニケーション学科長 出席者：7名（出席率100%）</p> <p>英語コミュニケーション学科FD：令和5年2月14日 内容：特別支援教育について：車イス要避難機器の使用方法について 講師：英語コミュニケーション学科長 出席者：7名（出席率100%）</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>前期・後期に各1回実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>結果を各授業担当者に公開するとともに、評価結果を分析した報告書を作成し、大学ホームページで公開している。また、全専任教員が教育活動の振り返り（ティーチング・ポートフォリオ）を作成し、学内ネットワークを通じて相互閲覧している。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

高度情報化とともにダイナミックに展開するグローバル化において必要とされる人材を育成すべく 2020 年 4 月 1 日に国際学部が設置され、3 年が経過した。グローバル化は高度情報化に促される形でますます経済社会から文化生活に至るわれわれの生活全般において重層的に進展し社会構造を大きく変化させつつある。国際学部ではこのようなグローバル社会を生き抜く「自立して輝く女性」を育成するために英語力、多言語運用力を中核とする国際コミュニケーション能力や、協調性・柔軟性・責任感・使命感などを中核とする異文化・自文化の理解力、および主体性・積極性・チャレンジ精神を中核とする国際交流・ビジネスの実践力の育成を目指している。

2023 年度の学生募集活動は依然として COVID-19 の影響が続く中で行われた。2020 年からの COVID-19 パンデミック下では国際的な移動が制限され、国際学部が卒業後の主要な進路として掲げる観光、航空、ホテル等の国際移動関連産業が大きなダメージを受けるようになり昨年度においてもその影響が持続し、また国際学部のカリキュラムで重要な位置を占める海外留学も依然として停滞が続いた。このような状況の中で国際学部の魅力を諸関係者が納得するように伝えるためには相当の工夫が必要となる。このような認識のもと、オープンキャンパスや高校訪問において、そして HP、SNS などのメディアを通して「ポストコロナ」を重要なキーワードとして「国際」の学びや学部学科の教育課程の特色について工夫を重ねながら広報を行なったが志願者数と入学者数は前年度に及ばなかった。志願者に関しては前年度より 156 名少ない 257 名（英語コミュニケーション学科 114 名、国際学科 143 名）を集めることとなり、入学者に至っては、前年度より 20 名少ない 64 名（英語コミュニケーション学科 30 名、国際学科 34 名）の確保に留まり、大幅な定員割れとなった。2023 年度からは COVID 19 の影響の収束が見込まれるとはいえ厳しい状況の持続も予想されるため目下来年度に向け改善策を検討しているところである。

教育課程の実施の面では 2022 年度は、前期オンライン授業が 12 コマ（英語コミュニケーション学科 10 コマ、国際学科 2 コマ）、オンデマンド授業が 2 コマ（国際学科）であったがそれ以外はすべて対面授業になり、後期に至ってはすべての授業を対面形式に戻すことができた。内容の面でも設置趣旨に則って授業を展開することができ、教育の質を保証すべく大学が導入している ICT システム「manaba course」なども有効に活用しながら計画通りに教育を実施することができた。また、大学教育へのスムーズな接続と学部・学科への帰属意識の強化のために昨年度同様入学が確定した受験生に対して入学するまでに全学レベル及び学部・学科単位で 3 回（12 月 4 日、1 月 8 日、2 月 26 日）にわたり「プレわよらかフェ」というイベントを行ない、大学・学部・学科の学びについて理解を深め教員との交流を体験してもらったことができた。

教員組織に関しては前年度同様学部学科運営や開講科目に必要な員数と職位構成の要件を十分に満たしており（但し国際学科の教授 1 名は 2023 年 4 月 1 日より他学へ移籍）、准教授 3 名、講師 1 名、助教 5 名）、きめ細やかな学生指導ができる体制を維持している。教員の FD に関しても大学、学部、学科のいずれのレベルにおいても全員が参加し日頃教育方法の研鑽を重ねている。

以上の通り 2022 年度は基本的に対面授業に戻り、設置趣旨達成の面で順調であったと認識している。今後も設置趣旨に則り一層教育の質を高めるべく努めていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 令和4年4月 公表

b 公表方法

- ・ 点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和3年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）による評価の結果、適合と認定された。

認定の期間は2022年4月～2029年3月である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2～3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

(別添)

第2編 和洋女子大学 第1部 大学 第2章 組織 (和洋女子大学大学評議会規程)

○和洋女子大学大学評議会規程

(設置)

第1条 和洋女子大学学則第8条の規定に基づき、本学に大学評議会（以下「本会」という。）を置く。

(目的)

第2条 本会は、大学の充実と運営の効率化を図るため、大学運営等に関する重要な以下の事項について、審議を行うとともに、必要な連絡調整を行うことを目的とする。

(1) 大学の将来構想及び中期計画・目標の企画立案に関する事項

(2) 教員人事に関する事項（採用に伴う手続きは別に定める）

(3) 自己点検及び評価の企画・実施に関する事項

(4) FD(ファカルティ・ディベロップメント)に関する事項

(5) 学長が必要と認めた事項

2 本会は、審議した事項について、必要に応じて教授会に報告しなければならない。教授会は、特に必要がある場合には、本会が審議した事項について、改めて審議し、本会に意見を述べることができる。

(構成員)

第3条 本会は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、国際交流センター長、教職教育支援センター長、学術情報センター長、事務局長、事務局次長、事務局各部長をもって構成する。

2 本会が必要と認めたときは、前項の規定に関わらず、その他の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

(会議)

第4条 本会は、原則として定期開催する。ほかに、学長が必要と認めたとき、又は構成員の2分の1以上の要求があったときは、学長がこれを招集する。

2 本会は大学院評議会と合同で開催することができる。

(議長)

第5条 本会の議長は、学長がこれに当たる。

2 学長に支障があるときは、学長があらかじめ指名する者がこれを代行する。

(成立要件)

第6条 本会は、委任状を含めて構成員(国内研修派遣者、海外研修派遣者、退職者、育児休業者及び介護休業者を除く。)の3分の2以上の出席をもって成立する。

(議決)

第7条 本会の議決ならびに教授会の審議結果を参酌し、学長は事項に関する方針を決定する。

(議事の公開)

第8条 本会の議事は、非公開とする。

(庶務)

第9条 本会の庶務については、庶務課が担当する。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、和洋学園諸規程の管理規程の定めによる。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から制定施行する。

本規程の制定により、和洋女子大学大学運営会議規程(平成27年4月1日制定施行)、全体協議会規程(平成10年3月17日制定施行)及び全体協議会運営規程(平成10年3月17日制定)については、平成30年3月31日をもって廃止する。

附 則

この規程は、2020年4月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、2022年4月1日から改正施行する。

学校コード F112310102477
注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
和洋女子大学 国際学部

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 和洋学園
令和5年5月1日現在

目次

国際学部

<国際学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 和洋学園

(2) 大学名

和洋女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒272-8533

千葉県市川市国府台2-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガサカ ケンジロウ) 長坂 健二郎 (平成27年5月)		
学長	(キンダ コウジ) 岸田 宏司 (平成24年4月)		
学部長	(サトマサ メイゴ) 里正 明伍 (令和2年4月)		
学科長等	(フジマル マキ) 藤丸 麻紀 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 国際学科 学士(国際)	文学関係	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	60人 60 (-) []	— (-) []	0.85倍	—倍	0.75倍	—倍							
志願者数	() []	() []	() []	() []	487 (-) []	— (-) []	230 (-) []	— (-) []	237 (-) []	— (-) []	143 (-) []	— (-) []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	478 (-) []	— (-) []	205 (-) []	— (-) []	234 (-) []	— (-) []	141 (-) []	— (-) []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	118 (-) []	— (-) []	157 (-) []	— (-) []	218 (-) []	— (-) []	140 (-) []	— (-) []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	68 (-) []	— (-) []	58 (-) []	— (-) []	46 (-) []	— (-) []	34 (-) []	— (-) []					
入学定員超過率 B/A					1.13		0.96		0.76		0.56						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	68 [-] (-)	- [-] (-)	58 [-] (-)	- [-] (-)	47 [-] (1)	- [-] (-)	34 [1] (-)	- [-] (-)			
2年次			[] ()	[] ()					66 [-] (-)	- [-] (-)	56 [-] (-)	- [-] (-)	48 [1] (-)	- [-] (-)	
3年次											64 [-] (-)	- [-] (-)	54 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次													63 [-] (-)	- [-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	68 [-] (-)	- [-] (-)	124 [-] (-)	- [-] (-)	167 [-] (1)	- [-] (-)	199 [1] (1)	- [-] (-)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	68人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	124人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	0人	学内転籍(1人)、修学意欲の低下(1人)
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	169人	4人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	0人	就職(1人)芸能活動・持病治療(1名)
			令和3年度	2人	0人	修学意欲の低下(2名)
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	199人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		6人		6人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{68} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{124} = \boxed{1.61} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{169} = \boxed{2.36} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{199} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 国際学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
キャリアデザイン 基礎ゼミ	キャリアデザイン 基礎ゼミ	1前	2				4	1		3		兼2
	パソコンの基礎と応用 ベーシックラーニング	1前	2									兼4
	ベーシックラーニング	1前	2									兼2
	小計(4科目)	—	2	6	0	4	1	0	3	0		兼8
人文科学系	哲学への誘い	1前	2									兼1
	日本の文学	1前	2									兼2
	外国の文学	1後	2									兼1
	ジェンダーと文学	1前	2									兼1
	表現と創作	1前	2									兼2
	こんにちの文化	1前	2									兼1
	歴史学	1前	2									兼1
	日本の美術	1前	2									兼1
	西洋の美術	1後	2									兼1
	音楽の歴史	1後	2									兼1
	音楽の楽しみ	1前	2									兼1
	手書き文字の世界	1前	2									兼1
	漢字・かな文字の変遷	1後	2									兼2
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	兼12	
社会科学系	日本国憲法	1前	2									兼1
	憲法と人権	1前	2									兼1
	国際関係入門	1前	2			1						兼1
	経済の仕組み	1前	2			1	1					兼1
	社会の仕組み	1前	2			1						兼1
	20世紀の日本	1前	2			1						兼1
	家族と社会	1前	2			1						兼1
	家族と福祉	1後	2									兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	4	1	0	0	0	0	兼3	
生活科学系	服装の科学	1前	2									兼1
	ファッションの文化	1前	2									兼1
	色彩の科学	1前	2									兼1
	健康と食生活	1前	2									兼2
	住まいとデザイン	1後	2									兼1
	社会福祉の展望	1後	2									兼1
	加齢と高齢者の科学	1前	2									兼1
	子どもと育児	1前	2									兼1
	化学	1前	2									兼1
	数理と発想	1後	2									兼1
	看護の知識	1後	2									兼6
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼15	
人間科学系	社会貢献と実践	1前	2									兼2
	心理の科学	1前	2									兼2
	家族とジェンダー	1前	2									兼1
	人間の発達	1前	2									兼2
	生命の科学	1前	2									兼1
	現代の教育	1前	2									兼2
	文化遺産に学ぶ	1前	2									兼1
	生命と医療の倫理	1後	2									兼1
	女性と美容	1前	2									兼1
	健康の科学	1前	2									兼4
	スポーツ実習	1前	1									兼4
	フィットネス実習	1後	1									兼3
小計(12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼18	
海外研修科目	海外語学研修	1前	2									兼1
	海外文化研修	1前	2									兼2
小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
外国語科目	英語a	1前	1				1					兼2
	英語b	1前	1						1			兼3
	日本語a-I	1前	1									兼1
	日本語a-II	1後	1									兼1
	日本語b-I	1前	1									兼1
	日本語b-II	1後	1									兼1
小計(6科目)	—	2	4	0	0	0	1	1	0	0	兼6	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
キャリアデザイン 基礎ゼミ	キャリアデザイン 基礎ゼミ	1前	2				0			2		兼1
	パソコンの基礎と応用 ベーシックラーニング	1前	2									兼3
	ベーシックラーニング	1前	2									兼4
	小計(4科目)	—	2	6	0	0	0	0	2	0		兼7
人文科学系	哲学への誘い	1前	2									兼1
	日本の文学	1前	2									兼3
	外国の文学	1後	2									兼1
	ジェンダーと文学	1前	2									兼1
	表現と創作	1前	2									兼1
	こんにちの文化	1前	2									兼1
	歴史学	1前	2									兼1
	日本の美術	1前	2									兼1
	西洋の美術	1後	2									兼1
	音楽の歴史	1後	2									兼1
	音楽の楽しみ	1前	2									兼1
	手書き文字の世界	1前	2									兼1
	漢字・かな文字の変遷	1後	2									兼1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	兼11	
社会科学系	日本国憲法	1前	2									兼1
	憲法と人権	1前	2									兼1
	国際関係入門	1前	2			0						兼1
	経済の仕組み	1前	2									兼1
	社会の仕組み	1前	2			1	0					兼1
	20世紀の日本	1前	2			0						兼1
	家族と社会	1後	2			1						兼1
	家族と福祉	1後	2									兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	兼6	
生活科学系	服装の科学	1前	2									兼1
	ファッションの文化	1前	2									兼1
	色彩の科学	1前	2									兼1
	健康と食生活	1前	2									兼2
	住まいとデザイン	1後	2									兼1
	社会福祉の展望	1後	2									兼1
	加齢と高齢者の科学	1前	2									兼1
	子どもと育児	1前	2									兼2
	化学	1前	2									兼1
	数理と発想	1後	2									兼1
	看護の知識	1後	2									兼4
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼14	
人間科学系	社会貢献と実践	1通	2									兼2
	心理の科学	1前	2									兼2
	家族とジェンダー	1前	2									兼2
	人間の発達	1前	2									兼2
	生命の科学	1前	2									兼1
	現代の教育	1前	2									兼1
	文化遺産に学ぶ	1前	2									兼2
	生命と医療の倫理	1後	2									兼1
	女性と美容	1前	2									兼2
	健康の科学	1前	2									兼1
	スポーツ実習	1前	1									兼4
	フィットネス実習	1後	1									兼2
小計(12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼18	
海外研修科目	海外語学研修	1通	2					1	1			兼1
	海外文化研修	1通	2									兼1
小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	1	1	0	0	兼2	
外国語科目	英語a	1前	1					1				兼1
	英語b	1前	1							0		兼2
	日本語a-I	1前	1									兼1
	日本語a-II	1後	1									兼1
	日本語b-I	1前	1									兼1
	日本語b-II	1後	1									兼1
小計(6科目)	—	2	4	0	0	0	1	0	0	0	兼6	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門演習・実践科目	国際文化PBL I	1後	2					2				
	国際文化PBL II A	2前	2					3				
	国際文化PBL II B	2後	2	2		4	1	1	3			
	国際文化PBL III A	3前	2			4	1	1	3			
	国際文化PBL III B	3後	2	2		4	1	1	3			
	専門ゼミ I A	2前	2			4	1		1			
	専門ゼミ I B	2後	2			4	1		1			
	専門ゼミ II A	3前	2			4	1		2			
	専門ゼミ II B	3後	2			4	1		2			
	卒業研究	4通	4			4	1		2			
	小計 (10科目)	—	18	4	0	4	1	1	3	0		兼1
国際社会文化特講A	2後	2						1				
	3前	2						1				
	小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	2	0	兼1	
特設科目	ミクロ経済学	2後	2			1						
	財務会計	2前	2			1						
	マーケティング論	2後	2			1						
	観光特論	2前	2						1			
	小計 (4科目)	—	0	8	0	1	0	0	1	0	兼0	
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後	2								兼1	
	図書館概論	1前	2								兼1	
	図書館制度・経営論	2後	2								兼1	
	図書館情報技術論	2前	2								兼1	
	図書館サービス概論	1後	2								兼1	
	児童サービス論	2後	2								兼1	
	情報サービス論	2後	2								兼1	
	情報サービス演習A	2前	1								兼1	
	情報サービス演習B	2後	1								兼1	
	図書館情報資源概論	1後	2								兼1	
	情報資源組織論	2後	2								兼1	
	情報資源組織演習A	3前	1								兼1	
	情報資源組織演習B	3後	1								兼1	
	学校経営と学校図書館	2前	2								兼1	
	読書と豊かな人間性	2前	2								兼1	
	図書館情報資源特論	2前	2								兼1	
	図書館総合演習	3前	1								兼1	
	図書館実習	3前	1								兼1	
小計 (18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼6		
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前	2								兼1	
	博物館経営論	2後	2								兼1	
	博物館情報・メディア論	2後	2								兼1	
	生涯学習概論	2前・後	2								兼1	
	博物館資料論	3前	2								兼1	
	博物館展示論	3前	2								兼1	
	博物館教育論	3後	2								兼1	
	博物館資料保存論	4前	2								兼1	
	博物館実習 I	4前	1								兼1	
	博物館実習 II (館務実習)	4後	2								兼3	
	美術史 I	1前	2								兼1	
	美術史 II	1後	2								兼1	
	古代学 I	2前	2								兼1	
	古代学 II	2後	2								兼1	
	民俗学 I	3前	2								兼1	
	民俗学 II	3後	2								兼1	
小計 (16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0	兼7		
合計 (169科目)	—	67	226	61	4	1	1	3	0	兼77		

卒業要件及び履修方法
卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【国際学科】
専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「専門基礎科目」14単位以上、「専門語学科目」14単位以上、「専門展開科目」16単位以上、「専門演習・実践科目」18単位以上、「専門キャリア科目」2単位以上、「特設科目」2単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に英語コミュニケーション学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門演習・実践科目	国際文化PBL I	1後	2					2			
	国際文化PBL II A	2前	2					2			
	国際文化PBL II B	2後	2	2		4	0	0	2		
	国際文化PBL III A	3前	2			4	0	0	1	3	
	国際文化PBL III B	3後	2	2		4	0	0	1	3	
	専門ゼミ I A	2前	2			3	0	0	1	1	
	専門ゼミ I B	2後	2			3	0	0	1	1	
	専門ゼミ II A	3前	2			4	0	0	2		
	専門ゼミ II B	3後	2			4	0	0	2		
	卒業研究	4通	4			4	0	0	2		
	小計 (10科目)	—	18	4	0	4	0	1	3	0	
国際社会文化特講A	2後	2						1			
	3前	2						1			
	小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	2	0	兼0
特設科目	ミクロ経済学	2後	2			1					
	財務会計	2前	2			0					兼1
	マーケティング論	2後	2			1					
	観光特論	2前	2						1		
	小計 (4科目)	—	0	8	0	1	0	0	1	0	兼1
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後	2								兼1
	図書館概論	1前	2								兼1
	図書館制度・経営論	2前	2								兼1
	図書館情報技術論	2前	2								兼1
	図書館サービス概論	1後	2								兼1
	児童サービス論	2後	2								兼1
	情報サービス論	2後	2								兼1
	情報サービス演習A	3前	1								兼1
	情報サービス演習B	3後	1								兼1
	図書館情報資源概論	1後	2								兼1
	情報資源組織論	2後	2								兼1
	情報資源組織演習A	3前	1								兼1
	情報資源組織演習B	3後	1								兼1
	学校経営と学校図書館	2前	2								兼1
	読書と豊かな人間性	2後	2								兼1
	図書館情報資源特論	2前	2								兼1
	図書館総合演習	3前	1								兼1
	図書館実習	3前	1								兼1
小計 (18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼7	
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前	2								兼1
	博物館経営論	2後	2								兼1
	博物館情報・メディア論	2後	2								兼1
	生涯学習概論	2前・後	2								兼1
	博物館資料論	3前	2								兼1
	博物館展示論	3前	2								兼1
	博物館教育論	3後	2								兼1
	博物館資料保存論	4前	2								兼1
	博物館実習 I	4前	1								兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4前	2								兼3
	美術史 I	1前	2								兼1
	美術史 II	1後	2								兼1
	古代学 I	2前	2								兼1
	古代学 II	2後	2								兼1
	民俗学 I	3前	2								兼1
	民俗学 II	3後	2								兼1
小計 (16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0	兼8	
合計 (169科目)	—	67	226	61	4	0	1	3	0	兼77	

卒業要件及び履修方法
卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【国際学科】
専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「専門基礎科目」14単位以上、「専門語学科目」14単位以上、「専門展開科目」16単位以上、「専門演習・実践科目」18単位以上、「専門キャリア科目」2単位以上、「特設科目」2単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に英語コミュニケーション学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリアデザイン 基礎ゼミ	キャリアデザイン	1前	2								兼1
	基礎ゼミ	1前	2			0			2		兼4
	パソコンの基礎と応用	1前	2								兼3
	ベーシックラーニング	1前	2								兼3
	小計(4科目)	—	2	6	0	0	0	0	2	0	兼8
人文科学系	哲学への誘い	1前	2								兼1
	日本の文学	1前	2								兼3
	外国の文学	1後	2								兼1
	ジェンダーと文学	1前	2								兼1
	表現と創作	1前	2								兼1
	こんにちの文化	1前	2								兼1
	歴史学	1前	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1後	2								兼1
	小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	兼11
社会科学系	日本国憲法	1前	2								兼1
	憲法と人権	1前	2								兼1
	国際関係入門	1前	2			1					兼1
	経済の仕組み	1前	2								兼1
	社会の仕組み	1前	2			1					兼1
	20世紀の日本	1前	2			0					兼1
	家族と社会	1前	2			1					兼1
	家族と福祉	1後	2								兼1
	小計(8科目)	—	0	16	0	3	0	0	0	0	兼4
生活科学系	服装の科学	1前	2								兼1
	ファッションの文化	1前	2								兼1
	色彩の科学	1前	2								兼1
	健康と食生活	1前	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1前	2								兼1
	子どもと育児	1前	2								兼2
	化学	1前	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1後	2								兼4
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼14
人間科学系	社会貢献と実践	1前	2								兼2
	心理の科学	1前	2								兼2
	家族とジェンダー	1前	2								兼2
	人間の発達	1前	2								兼2
	生命の科学	1前	2								兼1
	現代の教育	1前	2								兼1
	文化遺産に学ぶ	1前	2								兼2
	生命と医療の倫理	1後	2								兼1
	女性と美容	1前	2								兼2
	健康の科学	1前	2								兼1
スポーツ実習	1前	1								兼4	
フィットネス実習	1前	1								兼1	
	小計(12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼18
海外研修科目	海外語学研修	1後	2				1	1			兼1
	海外文化研修	1選	2								兼1
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	1	1	0	0	兼2
外国語科目	英語a	1前	1				1				兼1
	英語b	1前	1					0			兼2
	日本語a-I	1前	1								兼1
	日本語a-II	1後	1								兼1
	日本語b-I	1前	1								兼1
	日本語b-II	1後	1								兼1
	小計(6科目)	—	2	4	0	0	0	1	0	0	兼4

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリアデザイン 基礎ゼミ	キャリアデザイン	1前	2								兼1
	基礎ゼミ	1前	2			0			2		兼4
	パソコンの基礎と応用	1前	2								兼3
	ベーシックラーニング	1前	2								兼3
	小計(4科目)	—	2	6	0	0	0	0	2	0	兼8
人文科学系	哲学への誘い	1前	2								兼1
	日本の文学	1前	2								兼3
	外国の文学	1後	2								兼1
	ジェンダーと文学	1前	2								兼1
	表現と創作	1前	2								兼1
	こんにちの文化	1前	2								兼1
	歴史学	1前	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1後	2								兼1
	小計(13科目)	—	0	26	0	0	1	0	0	0	兼11
社会科学系	日本国憲法	1前	2								兼1
	憲法と人権	1前	2								兼1
	国際関係入門	1前	2			1					兼1
	経済の仕組み	1前	2								兼1
	社会の仕組み	1前	2			1					兼1
	20世紀の日本	1後	2			1					兼1
	家族と社会	1後	2			1					兼1
	家族と福祉	1前	2								兼1
	小計(8科目)	—	0	16	0	4	0	0	0	0	兼3
生活科学系	服装の科学	1前	2								兼1
	ファッションの文化	1前	2								兼1
	色彩の科学	1前	2								兼1
	健康と食生活	1前	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1後	2								兼1
	子どもと育児	1後	2								兼1
	化学	1前	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1後	2								兼6
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼15
人間科学系	社会貢献と実践	1前	2								兼2
	心理の科学	1前	2								兼2
	家族とジェンダー	1前	2								兼2
	人間の発達	1前	2								兼2
	生命の科学	1前	2								兼1
	現代の教育	1前	2								兼2
	文化遺産に学ぶ	1前	2								兼2
	生命と医療の倫理	1後	2								兼1
	女性と美容	1前	2								兼2
	健康の科学	1前	2								兼4
スポーツ実習	1前	1								兼4	
フィットネス実習	1前	1								兼3	
	小計(12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼20
海外研修科目	海外語学研修	1後	2					1	1		兼1
	海外文化研修	1選	2								兼0
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	1	1	0	0	兼1
外国語科目	英語a	1前	1					1			兼1
	英語b	1前	1						0		兼2
	日本語a-I	1前	1								兼1
	日本語a-II	1後	1								兼1
	日本語b-I	1前	1								兼1
	日本語b-II	1後	1								兼1
	小計(6科目)	—	2	4	0	0	0	1	0	0	兼4

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			5	0	1	3			
	国際異文化理解論	1前	2						1			
	英語演習a	1後	1			0	0	1			兼2	
	英語演習b	1後	1			0	0		1		兼3	
	実践中国語 I	1後		2							兼1	
	実践中国語 II	2前		2							兼1	
	実践韓国語 I	1後		2							兼1	
	実践韓国語 II	2前		2							兼1	
	実践フランス語 I	1後		2							兼1	
	実践フランス語 II	2前		2							兼1	
	実践スペイン語 I	1後		2							兼1	
	実践スペイン語 II	2前		2							兼1	
	国際社会文化の基礎 (国際関係・文化論)	1前	2			1	0					兼0
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後	2			1	0					兼0
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1前	2			1	0					兼0
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後	2			1	0					兼0
	ことばと社会	3後	2						1			兼0
	ジェンダー・カルチュラル・スタディーズ	3前	2						0	0		兼1
	海外セミナーA	2後	12						0	0		兼1
	海外セミナーB	2後	24						0	0		兼1
小計 (20科目)	—	7	62	0	5	0	1	3	0		兼10	
専門基礎科目	異文化コミュニケーション論	1前	2					1	1			
	グローバルスタディーズ入門A	1前	2			3	0		1			
	グローバルスタディーズ入門B	1後	2			2	0		1			
	異文化交流と観光	1後	2					1	1			
	グローバル社会と文化A	2前	2			1	0					
	グローバル社会と文化B	2後	2			1	0					
	観光文化と地理	2後	2						1			
	人文学と観光	2後	2						1			
	観光文化と分析	2前	2			1	0					
	現代の文化人類学	2前	2						1			
小計 (10科目)	—	14	6	0	5	0	0	2	0		兼0	
専門語学科目	専門実践英語 I-a	2前	2					1				兼1
	専門実践英語 I-b	2前	2						0			兼2
	専門実践英語 II-a	2後	2					1				兼1
	専門実践英語 II-b	2後	2						0			兼2
	ビジネス英語	2前	2						0			兼1
	観光英語	2後	2						1			兼0
	英語で学ぶ日本文化	3前	2					1	1			兼1
	上級英語 I	3前	2					1	1			兼1
	上級英語 II	3後	2					1	1			兼1
	上級中国語	2後	2									兼1
	上級韓国語	2後	2									兼1
	上級フランス語	2後	2									兼1
	上級スペイン語	2後	2									兼1
小計 (13科目)	—	10	16	0	0	0	1	0	0		兼8	
専門展開科目	多文化共生論	2前	2			1	0					
	国際化とアイデンティティ	2前	2			1	0					
	国際化と宗教文化	2後	2			1	0					
	国際文化交流史	2後	2						1			
	国際協力論	2後	2			1	0					
	グローバル消費文化論	2前	2						1			
	比較社会文化論 (未開講)	2後	2			1	0					
	比較政治文化論 (未開講)	2後	2			1	0					
	東アジア文化社会論	3前	2			1	0					
	東南アジア文化社会論	3前	2			1	0					
	ヨーロッパ文化社会論	3後	2			1	0					
	アメリカ文化社会論	3後	2						0			兼1
	国際フィールドワーク	2前	2			5	0	1	3			
	国際化とホスピタリティ	2後	2						1			
	メディア文化	2前	2			1	0					
	観光文化論	2前	2			1	0					
	旅行と文学	2後	2									兼1
	国際関係論	3前	2			1	0					
	国際化と開発	2後	2			1	0					
	世界文化遺産 (未開講)	4前	2						1			
小計 (20科目)	—	14	26	0	5	0	1	3	0		兼2	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			5	0	1	3			
	国際異文化理解論	1後	2						1			
	英語演習a	1後	1			0	0	1			兼2	
	英語演習b	1後	1			0	0		1		兼3	
	実践中国語 I	1後		2							兼1	
	実践中国語 II	2前		2							兼1	
	実践韓国語 I	1後		2							兼1	
	実践韓国語 II	2前		2							兼1	
	実践フランス語 I	1後		2							兼1	
	実践フランス語 II	2前		2							兼1	
	実践スペイン語 I	1後		2							兼1	
	実践スペイン語 II	2前		2							兼1	
	国際社会文化の基礎 (国際関係・文化論)	1前	2			1	0					兼0
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後	2			1	0					兼0
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1前	2			1	0					兼0
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後	2			1	0					兼0
	ことばと社会	3後	2						1			兼0
	ジェンダー・カルチュラル・スタディーズ	3前	2						0	0		兼1
	海外セミナーA	2後	12						0	0		兼1
	海外セミナーB	2後	24						0	0		兼1
小計 (20科目)	—	7	62	0	5	0	1	3	0		兼11	
専門基礎科目	異文化コミュニケーション論	1前	2					1	1			
	グローバルスタディーズ入門A	1前	2			3	0		1			
	グローバルスタディーズ入門B	1後	2			2	0		1			
	異文化交流と観光	1後	2					1	1			
	グローバル社会と文化A	2前	2			1	0					
	グローバル社会と文化B	2後	2			1	0					
	観光文化と地理	2後	2						1			
	人文学と観光	2後	2						1			
	観光文化と分析	2前	2			1	0					
	現代の文化人類学	2前	2						1			
小計 (10科目)	—	14	6	0	5	0	0	2	0		兼0	
専門語学科目	専門実践英語 I-a	2前	2					1				兼1
	専門実践英語 I-b	2前	2						0			兼2
	専門実践英語 II-a	2後	2					1				兼1
	専門実践英語 II-b	2後	2						0			兼2
	ビジネス英語	2前	2						1			兼1
	観光英語	2後	2					1				兼0
	英語で学ぶ日本文化	3前	2					1	1			兼1
	上級英語 I	3前	2					1	1			兼1
	上級英語 II	3後	2					1	1			兼1
	上級中国語	2後	2									兼1
	上級韓国語	2後	2									兼1
	上級フランス語	2後	2									兼1
	上級スペイン語	2後	2									兼1
小計 (13科目)	—	10	16	0	0	0	1	1	0		兼8	
専門展開科目	多文化共生論	2前	2			1	0					
	国際化とアイデンティティ	2前	2			1	0					
	国際化と宗教文化	2後	2			1	0					
	国際文化交流史	2後	2						1			
	国際協力論	2後	2			1	0					
	グローバル消費文化論	2前	2						1			
	比較社会文化論 (未開講)	2後	2			1	0					
	比較政治文化論 (未開講)	2後	2			1	0					
	東アジア文化社会論	3前	2			1	0					
	東南アジア文化社会論	3前	2			1	0					
	ヨーロッパ文化社会論	3後	2			1	0					
	アメリカ文化社会論	3後	2						0			兼1
	国際フィールドワーク	2前	2			5	0	1	3			
	国際化とホスピタリティ	2後	2						1			
	メディア文化	2前	2			1	0					
	観光文化論	2前	2			1	0					
	旅行と文学	2後	2									兼1
	国際関係論	3前	2			1	0					
	国際化と開発	2後	2			1	0					
	世界文化遺産 (未開講)	4前	2						1			
小計 (20科目)	—	14	26	0	5	0	1	3	0		兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門演習・実践科目	国際文化PBL I	1後	2					2				
	国際文化PBL II A	2前	2			5	0	0	2			
	国際文化PBL II B	2後	2	2		5	0	0	2			
	国際文化PBL III A	3前	2			5	0	1	3			
	国際文化PBL III B	3後	2	2		5	0	1	3			
	専門ゼミ I A	2前	2			4	0	0	1			
	専門ゼミ I B	2後	2			4	0	0	1			
	専門ゼミ II A	3前	2			5	0	0	2			
	専門ゼミ II B	3後	2			5	0	0	2			
	卒業研究	4通	4			5	0	0	2			
小計(10科目)	—	18	4	0	5	0	1	3	0		兼0	
国際社会文化特講A	2後	2						1				
	3前	2						1				
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	2	0		兼0
特設科目	ミクロ経済学	2後	2			1						
	財務会計	2前	2			0						兼1
	マーケティング論	2後	2			1						
	観光特論	2前	2						1			
	小計(4科目)	—	0	8	0	1	0	0	1	0		兼1
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後	2									兼1
	図書館概論	1前	2									兼1
	図書館制度・経営論	2前	2									兼1
	図書館情報技術論	2前	2									兼1
	図書館サービス概論	1後	2									兼1
	児童サービス論	2後	2									兼1
	情報サービス論	2後	2									兼1
	情報サービス演習A	2前	1									兼1
	情報サービス演習B	2後	1									兼1
	図書館情報資源概論	1後	2									兼1
	情報資源組織論	2後	2									兼1
	情報資源組織演習A	3前	1									兼1
	情報資源組織演習B	3後	1									兼1
	学校経営と学校図書館	2前	2									兼1
	読書と豊かな人間性	2前	2									兼1
	図書館情報資源特論	2前	2									兼1
	図書館総合演習	3後	1									兼1
	図書館実習	3前	1									兼1
小計(18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0		兼6	
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前	2									兼1
	博物館経営論	2後	2									兼1
	博物館情報・メディア論	2後	2									兼1
	生涯学習概論	2前・後	2									兼1
	博物館資料論	3前	2									兼1
	博物館展示論	3前	2									兼1
	博物館教育論	3後	2									兼1
	博物館資料保存論	4前	2									兼1
	博物館実習 I	4後	1									兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4前	2									兼3
	美術史 I	1前	2									兼1
	美術史 II	1後	2									兼1
	古代学 I	1前	2									兼1
	古代学 II	1後	2									兼1
	民俗学 I	3前	2									兼1
	民俗学 II	3後	2									兼1
小計(16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0		兼6	
合計(169科目)	—	67	226	61								

卒業要件及び履修方法
卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【国際学科】
専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「専門基礎科目」14単位以上、「専門語学科目」14単位以上、「専門展開科目」16単位以上、「専門演習・実践科目」18単位以上、「専門キャリア科目」2単位以上、「特設科目」2単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に英語コミュニケーション学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門演習・実践科目	国際文化PBL I	1後	2					2				
	国際文化PBL II A	2前	2			5	0	0	2			
	国際文化PBL II B	2後	2	2		5	0	0	2			
	国際文化PBL III A	3前	2			5	0	1	3			
	国際文化PBL III B	3後	2	2		5	0	1	3			
	専門ゼミ I A	2前	2			4	0	0	1			
	専門ゼミ I B	2後	2			4	0	0	1			
	専門ゼミ II A	3前	2			5	0	0	2			
	専門ゼミ II B	3後	2			5	0	0	2			
	卒業研究	4通	4			5	0	0	2			
小計(10科目)	—	18	4	0	5	0	1	3	0		兼0	
国際社会文化特講A	2後	2						1				
	3前	2						1				
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	2	0		兼0
特設科目	ミクロ経済学	2後	2			1						
	財務会計	2前	2			0						兼1
	マーケティング論	2後	2			1						
	観光特論	2前	2						1			
	小計(4科目)	—	0	8	0	1	0	0	1	0		兼1
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後	2									兼1
	図書館概論	1前	2									兼1
	図書館制度・経営論	2前	2									兼1
	図書館情報技術論	2前	2									兼1
	図書館サービス概論	1後	2									兼1
	児童サービス論	2後	2									兼1
	情報サービス論	2後	2									兼1
	情報サービス演習A	2前	1									兼1
	情報サービス演習B	2後	1									兼1
	図書館情報資源概論	1後	2									兼1
	情報資源組織論	2後	2									兼1
	情報資源組織演習A	3前	1									兼1
	情報資源組織演習B	3後	1									兼1
	学校経営と学校図書館	2前	2									兼1
	読書と豊かな人間性	2後	2									兼1
	図書館情報資源特論	2前	2									兼1
	図書館総合演習	3後	1									兼1
	図書館実習	3前	1									兼1
小計(18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0		兼6	
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前	2									兼1
	博物館経営論	2後	2									兼1
	博物館情報・メディア論	2後	2									兼1
	生涯学習概論	2前・後	2									兼1
	博物館資料論	3前	2									兼1
	博物館展示論	3前	2									兼1
	博物館教育論	3後	2									兼1
	博物館資料保存論	4前	2									兼1
	博物館実習 I	4後	1									兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4前	2									兼3
	美術史 I	1前	2									兼1
	美術史 II	1後	2									兼1
	古代学 I	1前	2									兼1
	古代学 II	1後	2									兼1
	民俗学 I	3前	2									兼1
	民俗学 II	3後	2									兼1
小計(16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0		兼6	
合計(169科目)	—	67	226	61	5	0	1	3	0		兼78	

卒業要件及び履修方法
卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【国際学科】
専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「専門基礎科目」14単位以上、「専門語学科目」14単位以上、「専門展開科目」16単位以上、「専門演習・実践科目」18単位以上、「専門キャリア科目」2単位以上、「特設科目」2単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に英語コミュニケーション学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリアデザイン 基礎ゼミ パソコンの基礎と応用 ベーシックラーニング 小計(4科目)	キャリアデザイン	1前	2								兼1
	基礎ゼミ	1前	2			5			3		兼4
	パソコンの基礎と応用	1前	2								兼3
	ベーシックラーニング	1前	2								兼3
	小計(4科目)	—	2	6	0	5	0	0	3	0	兼8
人文科学系	哲学への誘い	1前	2								兼1
	日本の文学	1前	2								兼2
	外国の文学	1後	2								兼1
	ジェンダーと文学	1前	2								兼1
	表現と創作	1前	2								兼2
	こんにちの文化	1前	2								兼1
	歴史学	1前	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1後	2								兼1
	小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	兼11
社会科学系	日本国憲法	1前	2								兼1
	憲法と人権	1前	2								兼1
	国際関係入門	1前	2			1					兼1
	経済の仕組み	1前	2								兼1
	社会の仕組み	1前	2			1					兼1
	20世紀の日本	1前	2			1					兼1
	家族と社会	1前	2			1					兼1
	家族と福祉	1前	2								兼1
	小計(8科目)	—	0	16	0	4	0	0	0	0	兼3
生活科学系	服装の科学	1前	2								兼1
	ファッションの文化	1前	2								兼2
	色彩の科学	1前	2								兼1
	健康と食生活	1前	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1後	2								兼1
	こどもと育児	1前	2								兼2
	化学	1前	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1前	2								兼6
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼18
人間科学系	社会貢献と実践	1前	2								兼0
	心理の科学	1前	2								兼2
	家族とジェンダー	1前	2								兼2
	人間の発達	1前	2								兼2
	生命の科学	1前	2								兼1
	現代の教育	1後	2								兼2
	文化遺産に学ぶ	1前	2								兼2
	生命と医療の倫理	1後	2								兼1
	女性と美容	1前	2								兼1
	健康の科学	1前	2								兼4
	スポーツ実習	1前	1								兼4
	フィットネス実習	1後	1								兼3
	小計(12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼19
海外研修科目	海外語学研修	1前	2					1			兼0
	海外文化研修	1後	2								兼0
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	1	0	0	兼0
外国語科目	英語a	1前	1					1			兼2
	英語b	1前	1						1		兼2
	日本語a-I	1前	1								兼1
	日本語a-II	1後	1								兼1
	日本語b-I	1前	1								兼1
	日本語b-II	1後	1								兼1
	小計(6科目)	—	2	4	0	0	0	1	1	0	兼5

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			5	0	1	3				
	国際異文化理解論	1後	2							1			
	英語演習a	1後	1				0		1			兼2	
	英語演習b	1後	1				0			1		兼3	
	実践中国語Ⅰ	1後	2									兼1	
	実践中国語Ⅱ	2前	2									兼1	
	実践韓国語Ⅰ	1後	2									兼1	
	実践韓国語Ⅱ	2前	2									兼1	
	実践フランス語Ⅰ	1後	2									兼1	
	実践フランス語Ⅱ	2前	2									兼1	
	実践スペイン語Ⅰ	1後	2									兼1	
	実践スペイン語Ⅱ	2前	2									兼1	
	国際社会文化の基礎 (国際関係・文化論)	1前	2				1					兼0	
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後	2				1					兼0	
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1前	2				1					兼0	
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後	2				1					兼0	
	ことばと社会	3後	2							1		兼0	
グローバル・カルチュラル・スタディーズ	3前	2							0		兼1		
海外セミナーA	2後	12							0		兼1		
海外セミナーB	2後	24							0		兼1		
小計 (20科目)	—	7	62	0	5	0	1	3	0		兼11		
専門基礎科目	異文化コミュニケーション論	1前	2							1			
	グローバルスタディーズ入門A	1前	2				3	0			1		
	グローバルスタディーズ入門B	1後	2				2				1		
	異文化交流と観光	1後	2								1		
	グローバル社会と文化A	2前	2				1	0					
	グローバル社会と文化B	2後	2				1						
	観光文化と地理	2後	2								1		
	人文学と観光	2後	2								1		
	観光文化と分析	2前	2				1						
	現代の文化人類学	2前	2								1		
小計 (10科目)	—	14	6	0	5	0	0	2	0		兼0		
専門語学科目	専門実践英語Ⅰ-a	2前	2						1				兼1
	専門実践英語Ⅰ-b	2前	2							1			兼1
	専門実践英語Ⅱ-a	2後	2						1				兼1
	専門実践英語Ⅱ-b	2後	2							1			兼1
	ビジネス英語	2前	2							1			
	観光英語	2後	2										兼1
	英語で学ぶ日本文化	3前	2						1				兼1
	上級英語Ⅰ	3前	2						1				
	上級英語Ⅱ	3後	2						1				
	上級中国語	2後	2										兼1
上級韓国語	2後	2										兼1	
上級フランス語	2後	2										兼1	
上級スペイン語	2後	2										兼1	
小計 (13科目)	—	10	16	0	0	0	1	1	0		兼8		
専門展開科目	多文化共生論	2前	2				1						
	国際化とアイデンティティ	2前	2				1	0					
	国際化と宗教文化	2後	2				1	0					
	国際文化交流史	2後	2							1			
	国際協力論	2後	2				1						
	グローバル消費文化論	2前	2							1			
	比較社会文化論	2後	2				1						
	比較政治文化論	2後	2				1						
	東アジア文化社会論	3前	2				1						
	東南アジア文化社会論	3前	2				1						
	ヨーロッパ文化社会論	3後	2				1	0					
	アメリカ文化社会論	3後	2								1		
	国際フィールドワーク	2後	2				5	0	1	3			
	国際化とホスピタリティ	2後	2								1		
	メディア文化	2前	2				1						
	観光文化論	2前	2				1	0					
	旅行と文学	2後	2										兼1
国際関係論	3前	2				1							
国際化と開発	2後	2				1							
世界文化遺産	4前	2								1			
小計 (20科目)	—	14	26	0	5	0	1	3	0		兼1		

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門演習・実践科目	国際文化PBL I	1後	2						2			
	国際文化PBL II A	2前	2			5	0	1	3			
	国際文化PBL II B	2後	2			5	0	1	3			
	国際文化PBL III A	3前	2			5	0	1	3			
	国際文化PBL III B	3後	2		2	5	0	1	3			
	専門ゼミ I A	2前	2			5	0		1			
	専門ゼミ I B	2後	2			5	0		1			
	専門ゼミ II A	3前	2			5	0		2			
	専門ゼミ II B	3後	2			5	0		2			
	卒業研究	4通	4			5	0		2			
	小計 (10科目)	—	18	4	0	5	0	1	3	0		兼0
国際社会文化特講	国際社会文化特講A	2後		2					1			
	国際社会文化特講B	3前		2					1			
	小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	2	0		兼0
特設科目	ミクロ経済学	2後		2		1						
	財務会計	2前		2		1						
	マーケティング論	2後		2		1						
	観光特論	2前		2					1			
小計 (4科目)	—	0	8	0	1	0	0	1	0		兼0	
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	図書館概論	1前			2							兼1
	図書館制度・経営論	2後			2							兼1
	図書館情報技術論	2前			2							兼1
	図書館サービス概論	1後			2							兼1
	児童サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス演習A	2前			1							兼1
	情報サービス演習B	2後			1							兼1
	図書館情報資源概論	1後			2							兼1
	情報資源組織論	2後			2							兼1
	情報資源組織演習A	3前			1							兼1
	情報資源組織演習B	3後			1							兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2							兼1
	図書館情報資源特論	2前			2							兼1
	図書館総合演習	3前			1							兼1
	図書館実習	3前			1							兼1
小計 (18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0		兼6	
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2							兼1
	博物館経営論	2後			2							兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2							兼1
	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	博物館資料論	3前			2							兼1
	博物館展示論	3前			2							兼1
	博物館教育論	3後			2							兼1
	博物館資料保存論	4前			2							兼1
	博物館実習 I	4前			1							兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4後			2							兼1
	美術史 I	1前			2							兼1
	美術史 II	1後			2							兼1
	古代学 I	2前			2							兼1
	古代学 II	2後			2							兼1
民俗学 I	3前			2							兼1	
民俗学 II	3後			2							兼1	
小計 (16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0		兼7	
合計 (169科目)	—	67	226	61	5	0	1	3	0		兼81	

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【国際学科】

専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「専門基礎科目」14単位以上、「専門語学科目」14単位以上、「専門展開科目」16単位以上、「専門演習・実践科目」18単位以上、「専門キャリア科目」2単位以上、「特設科目」2単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に英語コミュニケーション学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務実習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- 兼任教員退職により、「キャリアデザイン」の兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
- 専任教員の昇任により、「基礎ゼミ」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授4」から「教授5」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「ベネッセラーニング」の兼任・兼任教員配置を「2」から「3」に変更。
- 時間割調整により、「歴史学」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「漢字・かな文字の変遷」の兼任・兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
- 専任教員の科目調整により、「経済の仕組み」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- 専任教員の役職者コマ減、専任教員の昇任により、「社会の仕組み」の専任教員配置を「教授2」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- 専任教員の役職者コマ減により、「20世紀の日本」の配当年次を「1前・後」から「1前」へ変更。
- 専任教員の役職者コマ減により、「家族と社会」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「ファッションの文化」の兼任・兼任教員配置を「1」から「2」に変更。
- 時間割調整により、「色彩の科学」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
- 兼任教員退職により、授業調整ができなくなったため「社会貢献と実践」を休講することにより、兼任・兼任教員配置を「2」から「0」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「家族とジェンダー」の兼任・兼任教員配置を「1」から「2」に変更。
- コロナ感染拡大防止のため、「現代の教育」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「文化遺産に学ぶ」の兼任・兼任教員配置を「1」から「2」に変更。
- コロナ感染拡大防止のため、「海外語学研修」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更、教員配置等を「兼1」から「講師1」に変更。
- コロナ感染拡大防止のため、「海外文化研修」を休講することにより、兼任・兼任教員配置を「2」から「0」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「英語b」の兼任・兼任教員配置を「3」から「2」に変更。
- 専任教員（准教授）教授昇任により、「国際セミナー」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「統教授0」に変更。
- コロナ感染拡大防止のため、「国際異文化理解論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語演習a」の教員配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼1」から「兼2」に変更。
- 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語演習b」の教員配置を「教授1」から「助教0」、「助教2」から「助教1」、「兼1」から「兼3」に変更。
- 専任教員（准教授）教授昇任により、「グローバルスタディーズ入門A」の教員配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- 専任教員（准教授）教授昇任により、「グローバル社会と文化A」の教員配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- 専任教員（准教授）教授昇任により、「国際化とアイデンティティ」の教員配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

【令和3年度】

- 兼任教員の担当科目調整により、「日本の文学」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- 兼任教員の担当科目調整により、「表現と創作」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- 兼任教員の役職者コマ減により、「20世紀の日本」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- 兼任教員の役職者コマ減により、「家族と社会」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- 兼任教員の担当科目調整により、「ファッションの文化」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- 兼任教員の退職により、「こどもと育児」の配当年次を「1前・後」から「1後」、教員配置を「兼2」に変更。
- 時間割調整により、「社会貢献と実践」の配当年次を「1前」から「1通」に変更。（集中全15回）
- コロナ感染防止のため期区分変更したがオンデマンド切り替え「現代の教育」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- 兼任教員の担当科目調整により、「女性と美容」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- 兼任教員の担当科目調整により、「フィットネス実習」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- 新型コロナウイルス感染症への対応のため休講とした科目を期区分変更して開講予定としたため、「海外語学研修」の教員配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- 新型コロナウイルス感染症への対応のため休講とした科目を期区分変更して開講予定としたため、「海外語学研修」の教員配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- 実習時期に合わせた期区分変更により、「海外文化研修」の配当年次を「1後」から「1通」に変更。（集中全15回）
- 兼任教員の担当科目調整により、「英語b」の教員配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- 専任教員の科目調整により、「専門実践英語I-b」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「兼1」から「兼2」に変更。
- 専任教員の就任により、「専門実践英語I-a」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「兼1」から「兼2」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「観光英語」の教員配置を「講師0」から「講師1」、「兼1」から「兼0」に変更。
- 専任教員の科目調整により、「国際文化PBL IIA」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教3」から「助教2」に変更。
- 専任教員の科目調整により、「国際文化PBL IIB」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教3」から「助教2」に変更。
- 専任教員の役職者コマ減により、「専門ゼミA」の教員配置を「教授5」から「教授4」に変更。
- 専任教員の役職者コマ減により、「専門ゼミB」の教員配置を「教授5」から「教授4」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「財務会計」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- 兼任教員の担当科目調整により、「図書館制度・経営論」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- 兼任教員の担当科目調整により、「図書館総合演習」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- 実習科目の期区分調整により、「博物館実習Ⅰ」の配当年次を「4前」から「4後」に変更。
- 実習科目の期区分調整により、「博物館実習Ⅱ（館務実習）」の配当年次を「4後」から「4前」に変更。
- 実習内容の充実を図るため、「博物館実習Ⅱ（館務実習）」の教員配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- 配当年次誤表記により、「古代学Ⅰ」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- 配当年次誤表記により、「古代学Ⅱ」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。

【令和4年度】

- 時間割調整により、「20世紀の日本」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- 専任教員の科目調整により、「20世紀の日本」の教員配置の「教授1」から「兼1」に変更。
- 時間割調整により、「家族と社会」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- 時間割調整により、「加齢と高齢者の科学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- 時間割調整により、「こどもと育児」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- 兼任教員の採用により、「こどもと育児」の教員配置の「兼1」から「兼2」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「看護の知識」の教員配置の「兼6」から「兼4」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「現代の教育」の教員配置の「兼2」から「兼1」に変更。
- 時間割調整により、「女性と美容」の配当年次を「1前」から「1前・後」に修正。
- 兼任教員の科目調整により、「健康の科学」の教員配置の「兼4」から「兼1」に変更。
- 兼任教員の科目調整により、「フィットネス実習」の教員配置の「兼3」から「兼1」に変更。
- 時間割調整により、「海外語学研修」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- 配当年次誤表記により、「情報サービス演習A」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
- 配当年次誤表記により、「情報サービス演習B」の配当年次を「2後」から「3後」に変更。
- 時間割調整により、「読書と豊かな人間性」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- コロナ感染拡大防止のため、「国際異文化理解論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更したが、感染状況を鑑み「1前」に戻した。
- 専任教員の科目調整により、「ビジネス英語」の「助教1」を「助教0」に変更、「兼0」を「兼1」に変更。
- 専任教員の科目調整により、「国際フィールドワーク」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- 専任教員の科目調整により、「アメリカ文化社会論」の「助教1」を「助教0」に変更、「兼0」を「兼1」に変更。

【令和5年度】

- ・兼任教員の採用及び兼任教員の科目調整により、「パソコンの基礎と応用」の教員配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・兼任教員の採用により、「ベーシックラーニング」の教員配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・時間割調整により、「こんちの文化」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・専任教員の退職及び兼任教員の採用により、「国際関係入門」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整により、「家族と社会」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・時間割調整により、「こどもと育児」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の退職及び兼任教員の科目調整により、「フィットネス実習」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整により、「海外語学研修」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際セミナー」の「教授5」を「教授4」に変更。
- ・「英語演習a」の対象学科を国際学部から国際学科対象科目とすることによるクラス数減により、教員配置を「兼2」を「兼1」に変更。
- ・「英語演習b」の対象学科を国際学部から国際学科対象科目とすることによるクラス数減により、教員配置を「兼3」を「兼2」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際社会文化の基礎（国際関係・交流論）」の「教授1」を「教授0」に、「兼0」を「兼1」に変更。
- ・専任教員の科目調整により、「ジェンダー&カルチュラルスタディーズ」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「グローバルスタディーズ入門A」の「教授3」を「教授2」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「グローバル社会と文化B」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際教員論」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際フィールドワーク」の「教授5」を「教授4」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際関係論」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際文化PBLⅡA」の「教授5」を「教授4」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際文化PBLⅡB」の「教授5」を「教授4」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際文化PBLⅢA」の「教授5」を「教授4」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「国際文化PBLⅢB」の「教授5」を「教授4」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「専門ゼミⅠA」の「教授4」を「教授3」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「専門ゼミⅠB」の「教授4」を「教授3」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「専門ゼミⅡA」の「教授5」を「教授4」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「専門ゼミⅡB」の「教授5」を「教授4」に変更。
- ・専任教員（教授）の退職により、「卒業研究」の「教授5」を「教授4」に変更。

- (注) 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
35 科目	100 科目	34 科目	169 科目	35 科目 []	100 科目 []	34 科目 []	169 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	グローバル社会と文化B	2	2後	専門	選択	専任教員の退職により、授業調整ができなくなってしまったため。代替措置としては、来年度開講できるように準備を進める。
2	国際協力論	2	2後	専門	選択	専任教員の退職により、授業調整ができなくなってしまったため。代替措置としては、来年度開講できるように準備を進める。
3	グローバル消費文化論	2	2前	専門	選択	専任教員のコマ数調整により、授業調整ができなくなってしまったため。代替措置としては、来年度開講できるように準備を進める。
4	メディア文化	2	2前	専門	選択	専任教員の役職者コマ数減により、授業調整ができなくなってしまったため。代替措置としては、来年度開講できるように準備を進める。
5	国際関係論	2	3後	専門	選択	専任教員の退職により、授業調整ができなくなってしまったため。代替措置としては、来年度開講できるように準備を進める。
6	国際化と開発	2	2後	専門	選択	専任教員の役職者コマ数減により、授業調整ができなくなってしまったため。代替措置としては、来年度開講できるように準備を進める。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講になった科目は、2年生又は3年生対象の科目であり、2023年度の4年生については、これまでに履修の機会があり、3年生以下については、次年度以降の開講により、履修の機会を提供できる。未開講については、在学生には、前年度2月に、新入生には4月に配付した時間割冊子に休講である旨を掲載し、周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{169} = \boxed{3.55} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	和洋国府台女子中学・ 高等学校(必要面積 18,193㎡)と共用 (収容定員：中学360人 680人、高等学校720人 1,070人)収容定員変更 に伴う修正(4)		
	校舎敷地	9,938 ㎡	34,404 ㎡	4,711 ㎡	49,053 ㎡			
	運動場用地	80,548 ㎡	11,509 ㎡	5,170 ㎡	97,227 ㎡			
	小 計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡			
合 計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡				
(2) 校 舎		専 用 50,544㎡ (50,544㎡)	共 用 2,757㎡ (2,757㎡)	共用する他の 学校等の専用 1,564㎡ (1,564㎡)	計 54,865㎡ (54,865㎡)	和洋国府台女子中学・ 高等学校(必要面積 18,193㎡)と共用 (収容定員：中学360人 680人、高等学校720人 1,070人)収容定員変更 に伴う修正(4)		
(3) 教 室 等	講 義 室 43 室	演 習 室 27 室	実験実習室 36 室	情報処理学習施設 6 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 0 人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 国際学部 国際学科		室 数 9 8 室		専任教員1名退職のため。 (5)			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書・視聴覚は再精査の 結果、修正した。(2)
	国際学部 国際学科	14,833 [1,110] 14,730 [1,109] 14,685 [1,105] 14,662 [1,154]	43 [25] 44 [26]	1 [1] 4 [0]	407 403			図書・学術雑誌・視聴覚 は再精査の結果、修正し た。(3)
	計	(14,833 [1,110]) (14,730 [1,109]) (14,685 [1,105]) (14,662 [1,154])	(43 [25]) (44 [26])	(1 [1]) (4 [0])	(407) (403)	()	()	図書・学術雑誌は再精査 の結果、修正した。(5)
		14,833 [1,110] 14,730 [1,109] 14,685 [1,105] 14,662 [1,154]	43 [25] 44 [26]	1 [1] 4 [0]	407 403			
(6) 図 書 館	面 積 3,673㎡		閱 覧 座 席 数 400		収 納 可 能 冊 数 321,224 278,611		収納可能冊数は再精査の 結果、修正した(2)	
(7) 体 育 館	面 積 6,005㎡		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要 -					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費については、再精査の 結果、修正した。なお図書購入費 には電子ジャーナル、データペー ス購入費を含む。(2) 共同研究費等：研究費の算出方法 変更(2) 共同研究費等：科研究の採択額の 増額(3) 科研究の採択額の増額による(4) 科研究費の採択額の増額による (5)
	教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	1,400千円 2,144千円	1,400千円 2,144千円	1,400千円 2,144千円	
	共同研究費等	2,160千円 1,505千円 1,287千円 1,150千円 1,031千円	2,160千円 1,505千円 1,287千円 1,150千円 1,031千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,230千円	第2年次 980千円	第3年次 980千円	第4年次 980千円	第5年次 一千円	第6年次 一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入 他						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、
複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の
項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、
その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」
を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	和洋女子大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
人文学部	年	人	年次人	人	-	0.99	-	0.99	-	-	平成20	-						
国際学科	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	-	-	-	平成26	千葉県市川市国府台2-3-1	令和2年学生募集停止					
日本文学文化学科	4	110	-	440	学士(文学)	0.98	-	1.00	-	-	平成20	同上						
心理学科	4	60	-	240	学士(心理学)	1.14	-	1.14	-	-	平成26	同上						
こども発達学科	4	70	-	280	学士(教養)	0.87	-	0.87	-	-	平成26	同上						
国際学部	4	120	-	480	-	0.81	-	0.78	-	-	令和2	-						
英語コミュニケーション学科	4	60	-	240	学士(英語コミュニケーション)	0.76	-	0.75	-	-	令和2	同上						
国際学科	4	60	-	240	学士(国際)	0.85	-	0.82	-	-	令和2	同上						
家政学部	4	290	-	1160	-	0.88	-	0.87	-	-	平成20	-						
服飾造形学科	4	60	-	240	学士(家政学)	0.88	-	0.86	-	-	平成20	同上						
健康栄養学科	4	120	-	480	学士(家政学)	1.04	-	1.03	-	-	平成20	同上						
家政福祉学科	4	110	-	440	学士(家政学)	0.70	-	0.70	-	-	平成20	同上						
看護学部	4	100	-	400	-	1.01	-	1.02	-	-	平成30	-						
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.01	-	1.02	-	-	平成30	千葉県市川市国府台2-1-18						
大学全体	4	750	-	3000	-	0.92	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等								
職名	担当授業科目名								
専任 助教	内田 翔大 <令和2年4月> 基礎ゼミ 英語 国際セミナー 英語演習 ことばと社会 専門英検英話1-b 専門英検英話2-b ビジネス英語 アメリカ文化社会論 国際フィールドワーク 国際文化PBLⅠA 国際文化PBLⅡB 国際文化PBLⅢA 国際文化PBLⅢB								
専任 助教	山崎 真之 <平成32年4月> 基礎ゼミ 国際セミナー 国際コミュニケーション論 グローバルスタディーズ入門※ 人文学と歴史 現代の文化人類学 国際文化史論 グローバル消費文化論 国際フィールドワーク 国際化とホスピタリティ 世界文化遺産 国際文化PBLⅠ 国際文化PBLⅡA 国際文化PBLⅡB 国際文化PBLⅢA 国際文化PBLⅢB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅡB 卒業研究 国際社会文化特講A								
兼任 教授	小沢 哲史 <令和2年4月> 人間の発達								
兼任 教授	豊谷 要 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想								
兼任 教授	加藤 崇謙 <令和2年4月> 文化遺産に学ぶ 博物館探検 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ(総務実習)	兼任 助教	加藤 崇謙 <令和2年4月> 文化遺産に学ぶ 博物館探検 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ(総務実習)						
兼任 教授	金子 健彦 <令和2年4月> 女性と美容								
兼任 教授	河内山 有佳 <令和2年4月> 海外語学研修	兼任 教授	河内山 有佳 <令和2年4月> 英語講習b	兼任 教授	河内山 有佳 <令和2年4月> 英語講習b	兼任 教授	河内山 有佳 <令和2年4月> 英語講習b	兼任 教授	河内山 有佳 <令和2年4月> 英語講習b 海外語学研修 英語講習b 英語講習b ビジネス英語
兼任 教授	小林 勉 <令和2年4月> 住まいとデザイン								
兼任 教授	庄司 知佳 <令和2年4月> 加齢と高齢者の科学								
兼任 教授	白鳥 孝子 <令和2年4月> 看護の知識※								
兼任 教授	新谷 余苗 <令和2年4月> 看護の知識※								
兼任 教授	鈴木 葉子 <令和2年4月> 生命と医療の倫理								
兼任 教授	刀根 洋子 <令和2年4月> 看護の知識※								
兼任 教授	中塚 紀子 <令和2年4月> 看護の知識※								
兼任 教授	中澤 明美 <令和2年4月> 看護の知識※								
兼任 教授	中村 威久水 <令和2年4月> 日本の美術 西洋の美術								
兼任 教授	坪田 清 <令和2年4月> 英語b 英語講習b	兼任 教授	坪田 清 <令和2年4月> 英語b	兼任 教授	坪田 清 <令和2年4月> 英語b	兼任 教授	坪田 清 <令和2年4月> 英語b		
兼任 教授	栗田 隆昭 <令和2年4月> 現代の教育								
兼任 教授	吉畑 公 <令和2年4月> 健康と食生活								

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
兼任 教授	湊 久美子 <令和2年4月> 社会実践と実践 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習	兼任 教授	湊 久美子 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習	兼任 教授	湊 久美子 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習 社会実践と実践	兼任 教授	湊 久美子 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習 社会実践と実践	兼任 教授	湊 久美子 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習
兼任 教授	矢野 恭子 <令和2年4月> こどもと育児								
兼任 教授	山下 豊秋 <令和2年4月> 経済の仕組み	兼任 教授	山下 豊秋 <令和2年4月> 経済の仕組み						
兼任 教授	吉田 昭 <令和2年4月> 図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報学概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 学校経営と学校図書館 図書館情報学特論 図書館総合演習 図書館実習	兼任 教授	吉田 昭 <令和2年4月> 図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報学概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 学校経営と学校図書館 図書館情報学特論 図書館総合演習 図書館実習	兼任 教授	吉田 昭 <令和2年4月> 図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報学概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 学校経営と学校図書館 図書館情報学特論 図書館総合演習 図書館実習	兼任 教授	吉田 昭 <令和2年4月> 図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報学概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 学校経営と学校図書館 図書館情報学特論 図書館総合演習 図書館実習	兼任 教授	吉田 昭 <令和2年4月> 図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報学概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 学校経営と学校図書館 図書館情報学特論 図書館総合演習 図書館実習
兼任 准教授	岡本 秀明 <令和2年4月> 家族と福祉	兼任 准教授	岡本 秀明 <令和2年4月> 家族と福祉	兼任 准教授	岡本 秀明 <令和2年4月> 家族と福祉	兼任 准教授	岡本 秀明 <令和2年4月> 家族と福祉	兼任 准教授	岡本 秀明 <令和2年4月> 家族と福祉
兼任 准教授	金井 智恵子 <令和2年4月> 人間の発達	兼任 准教授	金井 智恵子 <令和2年4月> 人間の発達	兼任 准教授	金井 智恵子 <令和2年4月> 人間の発達	兼任 准教授	金井 智恵子 <令和2年4月> 人間の発達	兼任 准教授	金井 智恵子 <令和2年4月> 人間の発達
兼任 准教授	木村 尚志 <令和2年4月> 日本の文学 表現と創作 海外文化研修	兼任 准教授	木村 尚志 <令和2年4月> 日本の文学 表現と創作	兼任 准教授	木村 尚志 <令和2年4月> 日本の文学	兼任 准教授	木村 尚志 <令和2年4月> 日本の文学	兼任 准教授	木村 尚志 <令和2年4月> 日本の文学
兼任 准教授	黒田 誠 <令和2年4月> こんにちの文化	兼任 准教授	黒田 誠 <令和2年4月> こんにちの文化	兼任 准教授	黒田 誠 <令和2年4月> こんにちの文化				
兼任 准教授	佐藤 淳一 <令和2年4月> 表現と創作	兼任 准教授	佐藤 淳一 <令和2年4月> ベーシックラーニング 表現と創作						
兼任 准教授	清水 冬樹 <令和2年4月> 社会福祉の展望 社会実践と実践								
兼任 准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月> 健康と食生活	兼任 准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月> 健康と食生活	兼任 准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月> 健康と食生活	兼任 准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月> 健康と食生活	兼任 准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月> 健康と食生活
兼任 准教授	守島 睦 <令和2年4月> 心理の科学	兼任 准教授	守島 睦 <令和2年4月> 心理の科学						
兼任 准教授	Benjamin Ojah <令和2年4月> 英語a 英語演習a 専門英談英語1-a 専門英談英語2-a	兼任 准教授	Benjamin Ojah <令和2年4月> 英語a 英語演習a 専門英談英語1-a 専門英談英語2-a	兼任 准教授	Benjamin Ojah <令和2年4月> 英語a 英語演習a 専門英談英語1-a 専門英談英語2-a	兼任 准教授	Benjamin Ojah <令和2年4月> 英語a 英語演習a 専門英談英語1-a 専門英談英語2-a	兼任 准教授	Benjamin Ojah <令和2年4月> 英語a 英語演習a 専門英談英語1-a 専門英談英語2-a
兼任 准教授	山本 高美 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用 服装の科学	兼任 准教授	山本 高美 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用 服装の科学	兼任 准教授	山本 高美 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用 服装の科学	兼任 准教授	山本 高美 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用 服装の科学	兼任 准教授	山本 高美 <令和2年4月> 服装の科学
兼任 准教授	弓削田 緑乃 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習	兼任 准教授	弓削田 緑乃 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習	兼任 准教授	弓削田 緑乃 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習	兼任 准教授	弓削田 緑乃 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習	兼任 准教授	弓削田 緑乃 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習
兼任 講師	永田 裕康 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用	兼任 講師	永田 裕康 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用	兼任 講師	永田 裕康 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用	兼任 講師	永田 裕康 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用	兼任 講師	永田 裕康 <令和2年4月> パソコンの基礎と応用
兼任 講師	Brett James Davies <令和2年4月> 英語a 英語演習a 英語で学ぶ日本文化								
兼任 助教	井上 博之 <令和2年4月> 英語b 英語演習b 海外セミナーA								
兼任 助教	梅山 聡 <令和2年4月> 日本の文学	兼任 准教授	梅山 聡 <令和2年4月> 日本の文学						
兼任 助教	大塚 千紗子 <令和2年4月> ベーシックラーニング	兼任 助教	大塚 千紗子 <令和2年4月> ベーシックラーニング	兼任 助教	大塚 千紗子 <令和2年4月> ベーシックラーニング	兼任 准教授	大塚 千紗子 <令和2年4月> ベーシックラーニング	兼任 准教授	大塚 千紗子 <令和2年4月> ベーシックラーニング
兼任 助教	小野 真嗣 <令和2年4月> 博物館資料論 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ	兼任 助教	小野 真嗣 <令和2年4月> 文化遺産に学ぶ 博物館資料論 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ	兼任 助教	小野 真嗣 <令和2年4月> 文化遺産に学ぶ 博物館資料論 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ	兼任 准教授	小野 真嗣 <令和2年4月> 文化遺産に学ぶ 博物館資料論 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ	兼任 准教授	小野 真嗣 <令和2年4月> 文化遺産に学ぶ 博物館資料論 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
兼任 助教	織田 奈緒子 <令和2年4月> ファッションの文化	兼任 助教	織田 奈緒子 <令和2年4月> ファッションの文化	兼任 助教	織田 奈緒子 <令和2年4月> ファッションの文化	兼任 助教	織田 奈緒子 <令和2年4月> ファッションの文化
兼任 助教	上村 明 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習	兼任 助教	上村 明 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習	兼任 助教	上村 明 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習	兼任 助教	上村 明 <令和2年4月> 健康の科学 スポーツ実習
兼任 助教	桑原 聖実 <令和2年4月> 看護の知識※	兼任 助教	桑原 聖実 <令和2年4月> 看護の知識※	兼任 助教	桑原 聖実 <令和2年4月> 看護の知識※	兼任 助教	桑原 聖実 <令和2年4月> 看護の知識※
兼任 助教	坪野 亜介 <令和2年4月> 英語b 英語演習b 観光英語	兼任 助教	坪野 亜介 <令和2年4月> 英語b 英語演習b 観光英語	兼任 助教	坪野 亜介 <令和2年4月> 英語b 英語演習b	兼任 助教	坪野 亜介 <令和2年4月> 英語b アメリカ文化社会論
兼任 助教	中村 光絵 <令和2年4月> 現代の教育						
兼任 助教	永澤 貴昭 <令和2年4月> 健康の科学	兼任 助教	永澤 貴昭 <令和2年4月> 健康の科学	兼任 助教	永澤 貴昭 <令和2年4月> 健康の科学	兼任 助教	永澤 貴昭 <令和2年4月> 健康の科学
兼任 助教	星野 文子 <令和2年4月> 外国の文学 ジェンダーと文学 ジェンダー&カルチュラル スタディーズ 海外セミナーB 旅行と文学	兼任 助教	星野 文子 <令和2年4月> 外国の文学 ジェンダーと文学 ジェンダー&カルチュラル スタディーズ 海外セミナーB 旅行と文学	兼任 助教	星野 文子 <令和2年4月> 外国の文学 ジェンダーと文学 ジェンダー&カルチュラル スタディーズ 旅行と文学	兼任 助教	星野 文子 <令和2年4月> 外国の文学 ジェンダーと文学 ジェンダー&カルチュラル スタディーズ 旅行と文学 海外セミナーB
				兼任 助教	加藤 文代 <令和2年9月> 生命と医療の倫理	兼任 助教	加藤 文代 <令和2年9月> 生命と医療の倫理
		兼任 助教	佐藤 望子 <令和2年4月> 看護とジェンダー	兼任 助教	佐藤 望子 <令和2年4月> 看護とジェンダー		
						兼任 助教	竹内 久典子 <令和4年4月> 看護の知識※
		兼任 助教	田代 和典 <令和2年4月> こどもと育児	兼任 助教	田代 和典 <令和2年4月> こどもと育児	兼任 助教	田代 和典 <令和2年4月> こどもと育児
		兼任 助教	矢野 健太郎 <令和2年4月> 現代の教育	兼任 助教	矢野 健太郎 <令和2年4月> 現代の教育		
		兼任 助教	小野 真子 <令和2年4月> 看護史 I 看護史 II	兼任 助教	小野 真子 <令和2年4月> 看護史 I 看護史 II	兼任 助教	小野 真子 <令和2年4月> 看護史 I 看護史 II
						兼任 助教	金子 伊織 <令和5年4月> 社会福祉と医療 スポーツ実習 フィットネス実習 健康の科学
						兼任 助教	河村 秋 <令和4年4月> 看護の知識※
						兼任 助教	橋本 香南 <令和5年4月> パソコンの基礎と応用 ペーシクラーニング
						兼任 助教	大日 龍晴 <令和4年4月> 看護とジェンダー
		兼任 助教	長瀬 由美子 <令和2年4月> 日本文学基礎論b 文化実習：日本文学b 国文学史b(2) 専攻論文指導演習 サテライト講座実習 プレゼンテーション実習 英語b-2 海外セミナーA	兼任 助教	長瀬 由美子 <令和2年4月> 日本文学基礎論b 文化実習：日本文学b 国文学史b(2) 専攻論文指導演習 サテライト講座実習 プレゼンテーション実習 英語b-2 海外セミナーA	兼任 助教	長瀬 由美子 <令和2年4月> 英語演習b 海外セミナーA
		兼任 助教	二宮 裕子 <令和2年4月> 社会福祉の原典	兼任 助教	二宮 裕子 <令和2年4月> 社会福祉の原典	兼任 助教	二宮 裕子 <令和2年4月> 社会福祉の原典
				兼任 助教	原野 晴典 <令和3年4月> ペーシクラーニング 日本の文学 表現と創作	兼任 助教	原野 晴典 <令和3年4月> ペーシクラーニング 日本の文学 表現と創作
		兼任 助教	藤本 典紀 <令和2年4月> ファッションの文化				
				兼任 講師	宮 高子 <令和4年4月> 看護の知識※	兼任 講師	宮 高子 <令和4年4月> 看護の知識※

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜所属＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜所属＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜所属＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜所属＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜所属＞ 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
							金指 有馬佳 ＜令和4年4月＞		金指 有馬佳 ＜令和4年4月＞
							住まいとデザイン		住まいとデザイン
							田中 佑樹 ＜令和3年4月＞		田中 佑樹 ＜令和3年4月＞
							心理の科学		心理の科学
							原良 寿子 ＜令和2年4月＞		原良 寿子 ＜令和2年4月＞
							キャリアデザイン 社会貢献と実践		キャリアデザイン 社会貢献と実践
			山本 貴重 ＜令和2年4月＞		山本 貴重 ＜令和2年4月＞		山本 貴重 ＜令和2年4月＞		山本 貴重 ＜令和2年4月＞
			英語Ⅰ 英語実習Ⅰ		英語Ⅰ 英語実習Ⅰ 専門英語Ⅰ-Ⅰ 専門英語Ⅰ-Ⅱ 海外留学研修		英語Ⅰ 英語実習Ⅰ 専門英語Ⅰ-Ⅰ 専門英語Ⅰ-Ⅱ 英語で学ぶ日本文化 海外留学研修		専門英語Ⅰ-Ⅰ 専門英語Ⅰ-Ⅱ 英語で学ぶ日本文化 海外留学研修
							吉田 真知子 ＜令和4年4月＞		吉田 真知子 ＜令和4年4月＞
							健康と食生活		健康と食生活
							吉山 さやか ＜令和3年4月＞		吉山 さやか ＜令和3年4月＞
							手書き文字の世界		手書き文字の世界
兼任	井口 崇 ＜令和2年4月＞	兼任	井口 崇 ＜令和2年4月＞	兼任	井口 崇 ＜令和2年4月＞	兼任	井口 崇 ＜令和2年4月＞	兼任	井口 崇 ＜令和2年4月＞
	博物館経営論		博物館経営論		博物館経営論		博物館経営論 博物館実習Ⅱ（総合実習）		博物館経営論 博物館実習Ⅱ（総合実習）
兼任	石川 圭一 ＜令和2年4月＞								
	漢字・かな文字の整理								
兼任	石橋 幸子 ＜令和2年4月＞	兼任	石橋 幸子 ＜令和2年4月＞	兼任	石橋 幸子 ＜令和2年4月＞	兼任	石橋 幸子 ＜令和2年4月＞	兼任	石橋 幸子 ＜令和2年4月＞
	読書と豊かな人間性		読書と豊かな人間性		読書と豊かな人間性		読書と豊かな人間性 学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性		読書と豊かな人間性 学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性
兼任	市橋 明典 ＜令和2年4月＞	兼任	市橋 明典 ＜令和2年4月＞	兼任	市橋 明典 ＜令和2年4月＞				
	実践フランス語Ⅰ 実践フランス語Ⅱ 上級フランス語		実践フランス語Ⅰ 実践フランス語Ⅱ 上級フランス語		実践フランス語Ⅰ 実践フランス語Ⅱ 上級フランス語				
兼任	福田 幹男 ＜令和2年4月＞	兼任	福田 幹男 ＜令和2年4月＞	兼任	福田 幹男 ＜令和2年4月＞	兼任	福田 幹男 ＜令和2年4月＞	兼任	福田 幹男 ＜令和2年4月＞
	ベーシックラーニング		ベーシックラーニング		ベーシックラーニング		ベーシックラーニング		ベーシックラーニング
兼任	宇佐美 かおる ＜令和2年4月＞	兼任	宇佐美 かおる ＜令和2年4月＞	兼任	宇佐美 かおる ＜令和2年4月＞				
	フィットネス実習		フィットネス実習		フィットネス実習				
兼任	大久保 洋子 ＜令和2年4月＞								
	実践中国語Ⅰ 実践中国語Ⅱ 上級中国語								
兼任	大森 美佳 ＜令和2年4月＞	兼任	大森 美佳 ＜令和2年4月＞	兼任	大森 美佳 ＜令和2年4月＞	兼任	大森 美佳 ＜令和2年4月＞	兼任	大森 美佳 ＜令和2年4月＞
	家族とジェンダー		家族とジェンダー		家族とジェンダー		家族とジェンダー		家族とジェンダー
兼任	奥田 環 ＜令和2年4月＞	兼任	奥田 環 ＜令和2年4月＞	兼任	奥田 環 ＜令和2年4月＞	兼任	奥田 環 ＜令和2年4月＞	兼任	奥田 環 ＜令和2年4月＞
	博物館展示論		博物館展示論		博物館展示論		博物館展示論		博物館展示論
兼任	鹿倉 社史 ＜令和2年4月＞	兼任	鹿倉 社史 ＜令和2年4月＞	兼任	鹿倉 社史 ＜令和2年4月＞				
	漢字・かな文字の整理		漢字・かな文字の整理		漢字・かな文字の整理				
兼任	加藤 はるか ＜令和2年4月＞	兼任	加藤 はるか ＜令和2年4月＞	兼任	加藤 はるか ＜令和2年4月＞	兼任	加藤 はるか ＜令和2年4月＞	兼任	加藤 はるか ＜令和2年4月＞
	歴史学		歴史学		歴史学		歴史学		歴史学
兼任	加藤 将典 ＜令和2年4月＞	兼任	加藤 将典 ＜令和2年4月＞	兼任	加藤 将典 ＜令和2年4月＞	兼任	加藤 将典 ＜令和2年4月＞	兼任	加藤 将典 ＜令和2年4月＞
	パソコンの基礎と応用		パソコンの基礎と応用		パソコンの基礎と応用 経済の仕組み		パソコンの基礎と応用 経済の仕組み		経済の仕組み
兼任	金塚 基 ＜令和2年4月＞	兼任	金塚 基 ＜令和2年4月＞	兼任	金塚 基 ＜令和2年4月＞	兼任	金塚 基 ＜令和2年4月＞	兼任	金塚 基 ＜令和2年4月＞
	生涯学習概論		生涯学習概論		生涯学習概論		生涯学習概論		生涯学習概論
兼任	川崎 充 ＜令和2年4月＞	兼任	川崎 充 ＜令和2年4月＞						
	手書き文字の世界		手書き文字の世界						
兼任	本野 京子 ＜令和2年4月＞								
	日本語Ⅰ-Ⅰ 日本語Ⅰ-Ⅱ 日本語Ⅰ-Ⅲ 日本語Ⅱ-Ⅰ								
兼任	金 順任 ＜令和2年4月＞	兼任	金 順任 ＜令和2年4月＞	兼任	金 順任 ＜令和2年4月＞	兼任	金 順任 ＜令和2年4月＞	兼任	金 順任 ＜令和2年4月＞
	実践韓国語Ⅰ 実践韓国語Ⅱ		実践韓国語Ⅰ 実践韓国語Ⅱ		実践韓国語Ⅰ 実践韓国語Ⅱ		実践韓国語Ⅰ 実践韓国語Ⅱ 上級韓国語		実践韓国語Ⅰ 実践韓国語Ⅱ 上級韓国語
兼任	金 祐珠 ＜令和2年4月＞	兼任	金 祐珠 ＜令和2年4月＞	兼任	金 祐珠 ＜令和2年4月＞	兼任	金 祐珠 ＜令和2年4月＞	兼任	金 祐珠 ＜令和2年4月＞
	海外文化研修 上級韓国語		上級韓国語		上級韓国語		海外文化研修		海外文化研修

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
兼任 講師	香山 綾子 <令和2年4月> 生命の科学	兼任 講師	香山 綾子 <令和2年4月> 生命の科学	兼任 講師	香山 綾子 <令和2年4月> 生命の科学	兼任 講師	香山 綾子 <令和2年4月> 生命の科学		
兼任 講師	小林 稔 <令和2年4月> 民俗学Ⅰ 民俗学Ⅱ	兼任 講師	小林 稔 <令和2年4月> 民俗学Ⅰ 民俗学Ⅱ	兼任 講師	小林 稔 <令和2年4月> 民俗学Ⅰ 民俗学Ⅱ				
兼任 講師	小室 敬幸 <令和2年4月> 音楽の歴史 音楽の楽しみ	兼任 講師	小室 敬幸 <令和2年4月> 音楽の歴史 音楽の楽しみ	兼任 講師	小室 敬幸 <令和2年4月> 音楽の歴史 音楽の楽しみ				
兼任 講師	齋藤 淑子 <令和2年4月> 児童サービス論	兼任 講師	齋藤 淑子 <令和2年4月> 児童サービス論	兼任 講師	齋藤 淑子 <令和2年4月> 児童サービス論	兼任 講師	齋藤 淑子 <令和2年4月> 児童サービス論 児童事情概論		
兼任 講師	酒井 博美 <令和2年4月> 心理の科学	兼任 講師	酒井 博美 <令和2年4月> 心理の科学						
兼任 講師	坂本 成生 <令和2年4月> 図書情報技術論 図書館サービス概論	兼任 講師	坂本 成生 <令和2年4月> 図書情報技術論 図書館サービス概論					兼任 講師	坂本 成生 <令和2年4月> 児童サービス論 児童事情概論 児童サービス論 児童サービス論
兼任 講師	菅原 令子 <令和2年4月> 哲学への誘い	兼任 講師	菅原 令子 <令和2年4月> 哲学への誘い			兼任 講師	菅原 令子 <令和2年4月> 哲学への誘い	兼任 講師	菅原 令子 <令和2年4月> 哲学への誘い
兼任 講師	高瀬 晃 <令和2年4月> 専門実践英語Ⅰ-b 専門実践英語Ⅱ-b	兼任 講師	高瀬 晃 <令和2年4月> 専門実践英語Ⅰ-b 専門実践英語Ⅱ-b						
兼任 講師	戸田 重和 <令和2年4月> キャリアデザイン								
兼任 講師	奈良 裕子 <令和2年4月> キャリアデザイン	兼任 講師	奈良 裕子 <令和2年4月> キャリアデザイン						
兼任 講師	難波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習	兼任 講師	難波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習	兼任 講師	難波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習	兼任 講師	難波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習	兼任 講師	難波 秀行 <令和2年4月> スポーツ実習
兼任 講師	新倉 慎右 <令和2年4月> 美術史Ⅰ 美術史Ⅱ								
兼任 講師	西巻 悦子 <令和2年4月> 情報サービス論 情報サービス演習A 情報サービス演習B	兼任 講師	西巻 悦子 <令和2年4月> 情報サービス論 情報サービス演習A 情報サービス演習B						
兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権	兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権	兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権	兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権	兼任 講師	日野 勝吾 <令和2年4月> 日本国憲法 憲法と人権
兼任 講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月> 実践スペイン語Ⅰ 実践スペイン語Ⅱ 上級スペイン語	兼任 講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月> 実践スペイン語Ⅰ 実践スペイン語Ⅱ 上級スペイン語	兼任 講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月> 実践スペイン語Ⅰ 実践スペイン語Ⅱ 上級スペイン語				
		兼任 教授	原子はるみ <令和2年4月> こどもと育児						
						兼任 講師	藤原 弘子 <令和2年4月> こどもと育児		
						兼任 講師	江島 智典 <令和2年4月> こんにも文化	兼任 講師	江島 智典 <令和2年4月> こんにも文化
						兼任 講師	川崎 麗華 <令和2年4月> 鳥倉神Ⅰ 民俗学Ⅱ	兼任 講師	川崎 麗華 <令和2年4月> 鳥倉神Ⅰ 民俗学Ⅱ
		兼任 講師	重八 順子 <令和2年4月> 日本語e-Ⅰ 日本語e-Ⅱ 日本語b-Ⅰ 日本語b-Ⅱ						
		兼任 講師	神戸 万知 <令和2年4月> 英語演習a	兼任 講師	神戸 万知 <令和2年4月> 英語演習a	兼任 講師	神戸 万知 <令和2年4月> 英語b 英語演習a	兼任 講師	神戸 万知 <令和2年4月> 英語b 英語演習a
				兼任 講師	小林 麻理美 <令和2年4月> 哲学への誘い				
		兼任 講師	藤 靖 <令和2年4月> 実践中国語Ⅰ 実践中国語Ⅱ 上級中国語	兼任 講師	藤 靖 <令和2年4月> 実践中国語Ⅰ 実践中国語Ⅱ 上級中国語	兼任 講師	藤 靖 <令和2年4月> 実践中国語Ⅰ 実践中国語Ⅱ 上級中国語	兼任 講師	藤 靖 <令和2年4月> 実践中国語Ⅰ 実践中国語Ⅱ 上級中国語

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
				兼任 講師	佐藤 薫 <令和3年4月> 女性と美術			兼任 講師	佐藤 薫 <令和3年4月> 女性と美術
				兼任 講師	鈴木 一生 <令和3年4月> 図書館情報技術論 図書館サービス講習A 図書館サービス講習B			兼任 講師	鈴木 一生 <令和3年4月> 図書館情報技術論 図書館サービス講習A 図書館サービス講習B
								兼任 講師	高島 瑞恵 <令和4年4月> 美術スペイン語Ⅰ 美術スペイン語Ⅱ 上級スペイン語
				兼任 講師	境口 正徳 <令和3年4月> 博物館実習Ⅱ(総合実習)			兼任 講師	境口 正徳 <令和3年4月> 博物館実習Ⅱ(総合実習)
				兼任 講師	田中 遼弘 <令和3年4月> 心理の科学			兼任 講師	田中 遼弘 <令和3年4月> 心理の科学
				兼任 講師	香一 文字 <令和3年9月> 図書館サービス概論			兼任 講師	香一 文字 <令和3年9月> 図書館サービス概論
								兼任 講師	田原 慎一郎 <令和4年4月> 20世紀の日本
								兼任 講師	神辻 真帆 <令和4年4月> 音楽の歴史 音楽の楽しみ
				兼任 講師	新島田 純詩 <令和3年4月> 日本語e-I 日本語e-II 日本語a-I 日本語a-II			兼任 講師	新島田 純詩 <令和3年4月> 日本語e-I 日本語e-II 日本語a-I 日本語a-II
								兼任 講師	羽生 綾子 <令和4年4月> 美術フランス語Ⅰ 美術フランス語Ⅱ 上級フランス語
				兼任 講師	原田 奈々子 <令和3年4月> 財務会計			兼任 講師	原田 奈々子 <令和3年4月> 財務会計
				兼任 講師	廣田 健彦 <令和3年4月> 専門実践英語Ⅰ-b 専門実践英語Ⅱ-b			兼任 講師	廣田 健彦 <令和3年4月> 専門実践英語Ⅰ-b 専門実践英語Ⅱ-b
		兼任 講師	Brett James Devlin <令和2年4月> 英語で学ぶ日本文化	兼任 講師	Brett James Devlin <令和2年4月> 英語で学ぶ日本文化				
				兼任 講師	三朝 長治 <令和3年4月> 漢字・かな文字の発展			兼任 講師	三朝 長治 <令和3年4月> 漢字・かな文字の発展
		兼任 講師	矢野 明彦 <令和2年4月> 加齢と高齢者の科学	兼任 講師	矢野 明彦 <令和2年4月> 加齢と高齢者の科学			兼任 講師	矢野 明彦 <令和2年4月> 加齢と高齢者の科学
								兼任 講師	石井 操志 <令和5年4月> 図書館情報資源概論
								兼任 講師	杉浦 涼一 <令和5年4月> 国際社会入門 国際社会文化の基礎(国際関係・実務)
								兼任 講師	永岡 裕康 <令和5年4月> パソコンの基礎と応用
								兼任 講師	升水 由香 <令和5年4月> 児童サービス論
								兼任 講師	宮崎 正博 <令和5年4月> 生命の科学

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)
 ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出申請作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 ・「認定専任(非常勤講師)には設置認可済又は届出済の専任(兼任、兼任を含む。)を基で記入してください。
 ・その上で、各年度については、**属する又は届出済から変更となっている場合は大学の年度としてください。**
 ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日現在の誕生日**を記入してください。
 ・兼任(兼任教員)は専、兼、兼(任)、兼(任)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・不要な年度(令和4年度以降であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・指定期間の改正により、新用カリキュラムを進行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に(変更前カリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前カリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	1	1	3	9	0	4	0	1	3	8	0
(5)	(0)	(1)	(3)	(9)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	0	1	3	8	0	4	0	1	3	8	0
[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{9} = \boxed{88.88} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要専任教員数
●●	●●	●●
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)			(●●)	(●●)	(●●)	(●●)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
(●●)	(●●)	[]	[]			(●●)	(●●)	[]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を要書済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、**
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
●●	●●	●●
名	名	名

(注)・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文科科学省告示第五十三号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)			(●●)	(●●)	(●●)	(●●)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
[]	[]	[]	[]			[]	[]	[]	[]		

(注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注)・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{} - \boxed{} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
●●	●●	●●	●●
名	名	名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一イ(2)及び第四十二条の六、専門職大学設置基準別表第一イ及び第三十六条、専門職短期大学設置基準別表第一イ及び第三十三条により算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)	(●●)
専任教員数(専)	専任教員数(実)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数	専任教員数(専)	専任教員数(実)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数				
●●	●●	●●		●●	●●	●●				●●	
(●●)	(●●)	(●●)		(●●)	(●●)	(●●)				(●●)	
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
専任教員数(専)	専任教員数(実)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数	専任教員数(専)	専任教員数(実)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数				
●●	●●	●●		●●	●●	●●				●●	
[]	[]	[]		[]	[]	[]				[]	

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要せずあり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
 なお、みなし専任教員(実み)がある場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{\bullet\bullet}{\bullet\bullet} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	杉浦功一	R5.3	必修	基礎ゼミ	③	R5.3一身上の都合のため辞任（5）			
				選択	国際関係入門	②				
				必修	国際セミナー	③				
				必修	国際社会文化の基礎（国際関係・文化論）	②				
				必修	グローバルスタディーズ入門A	③				
				必修	グローバル社会と文化B	③				
				選択	国際協力論	③				
				選択	国際フィールドワーク	③				
				選択	国際関係論	③				
				必修	国際文化PBL II A	③				
				選択	国際文化PBL II B	③				
				必修	国際文化PBL III A	③				
				選択	国際文化PBL III B	③				
				必修	専門ゼミ I A	③				
必修	専門ゼミ I B	③								
必修	専門ゼミ II A	③								
必修	専門ゼミ II B	③								
必修	卒業研究	①								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	12	科目	必修	1	科目	必修	10	科目
		選択	6	科目	選択	0	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	1	科目	計	15	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
1	人	必修	12	科目	必修	1	科目	必修	10	科目
		選択	6	科目	選択	0	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	1	科目	計	15	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{9} = 11.11 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和5年3月に辞任のあった専任教員1名(教授1名)に関しては、年度末の辞任確定であったため後任は令和6年度に採用することにし、当該教員が令和5年度に担当することになっていた18科目については、そのうちの9科目を学科内の他の専任教員が担当することにし、そして、当該教員にも非常勤講師として2科目担当を依頼し、残りの7科目は休講とするという措置をとった。なお、これらの措置は学部の教育課程の構造に影響を及ぼすものではない。本学部の国際学科会議を実質的な単位として、教育計画上の引継ぎを行っている。学生に対しては、ガイダンス時に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成30年度からは、全体協議会を廃して新設した「大学評議会」にて、FD・SDの計画と実施及び自己点検を、引き続き担当している。 ※別添「和洋女子大学大学評議会規程」</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>大学評議会は、学長が議長となり、月2回開催することになっている。構成員は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、国際交流センター長、教職教育支援センター長、学術情報センター長、事務局長、事務局次長、事務局各部長をもって構成する。</p> <p>令和4年度は合計19回開催され、全員が出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>審議事項は、大学の運営に関わる事項についてである。特に次の事項については、担当制とし、責任をもって行うこととしている。①大学認証評価、②教員の活動実践の点検、高大接続、④目標と計画(2年計画)、⑤授業評価アンケート、⑥学生生活アンケート、⑦FD・SD企画立案</p> <p>② 実施状況</p> <p>全学FD・SDの開催状況</p> <p>第1回目：令和4年4月26日 内容：新任教員に対する本学の教育理念ほかについて 講師：学長・学部長 出席者：11名（出席率91.7%）</p> <p>第2回目：令和4年6月28日 内容：「和洋女子大学の中期計画ー将来のランドデザインについてー」 講師：岸田学長 出席者：125名（出席率94.0%）</p> <p>第3回目：令和4年10月25日 出席者：125名（出席率94.0%） 内容：①「教育振興支援助成事業に関する報告について」 講師：こども発達学科 金井准教授 内容：②「本学のデジタル化対応（DX）についてーその現状・課題・展望」 講師：デジタル化対応プロジェクトチーム第2期（DXPT2.0）メンバー（代表：金丸副学長）</p> <p>国際学部国際学科FDの開催状況</p> <p>国際学部FD：令和4年11月8日 内容：「学部語学・資格調査結果とリメディアル教育について」 座長：国際学部長 出席者：15名（出席率100%）</p> <p>国際学科FD：令和5年3月7日 内容：「PBL(Project Based Learning)の今年度の振り返りと来年度の計画について」 座長：国際学科長 出席者：8名（出席率100%）</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>前期・後期に各1回実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>結果を各授業担当者に公開するとともに、評価結果を分析した報告書を作成し、大学ホームページで公開している。また、全専任教員が教育活動の振り返り（ティーチング・ポートフォリオ）を作成し、学内ネットワークを通じて相互閲覧している。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

高度情報化とともにダイナミックに展開するグローバル化において必要とされる人材を育成すべく 2020 年 4 月 1 日に国際学部が設置され、3 年が経過した。グローバル化は高度情報化に促される形でますます経済社会から文化生活に至るわれわれの生活全般において重層的に進展し社会構造を大きく変化させつつある。国際学部ではこのようなグローバル社会を生き抜く「自立して輝く女性」を育成するために英語力、多言語運用力を中核とする国際コミュニケーション能力や、協調性・柔軟性・責任感・使命感などを中核とする異文化・自文化の理解力、および主体性・積極性・チャレンジ精神を中核とする国際交流・ビジネスの実践力の育成を目指している。

2023 年度の学生募集活動は依然として COVID-19 の影響が続く中で行われた。2020 年からの COVID-19 パンデミック下では国際的な移動が制限され、国際学部が卒業後の主要な進路として掲げる観光、航空、ホテル等の国際移動関連産業が大きなダメージを受けるようになり昨年度においてもその影響が持続し、また国際学部のカリキュラムで重要な位置を占める海外留学も依然として停滞が続いた。このような状況の中で国際学部の魅力を諸関係者が納得するように伝えるためには相当の工夫が必要となる。このような認識のもと、オープンキャンパスや高校訪問において、そして HP、SNS などのメディアを通して「ポストコロナ」を重要なキーワードとして「国際」の学びや学部学科の教育課程の特色について工夫を重ねながら広報を行なったが志願者数と入学者数は前年度に及ばなかった。志願者に関しては前年度より 156 名少ない 257 名（英語コミュニケーション学科 114 名、国際学科 143 名）を集めることとなり、入学者に至っては、前年度より 20 名少ない 64 名（英語コミュニケーション学科 30 名、国際学科 34 名）の確保に留まり、大幅な定員割れとなった。23 年度からは COVID 19 の影響の収束が見込まれるとはいえ厳しい状況の持続も予想されるため目下来年度に向け改善策を検討しているところである。

教育課程の実施の面では 2022 年度は、前期オンライン授業が 12 コマ（英語コミュニケーション学科 10 コマ、国際学科 2 コマ）、オンデマンド授業が 2 コマ（国際学科）であったがそれ以外はすべて対面授業になり、後期に至ってはすべての授業を対面形式に戻すことができた。内容の面でも設置趣旨に則って授業を展開することができ、教育の質を確保すべく大学が導入している ICT システム「manaba course」なども有効に活用しながら計画通りに教育を実施することができた。また、大学教育へのスムーズな接続と学部・学科への帰属意識の強化のために昨年度同様入学が確定した受験生に対して入学するまでに全学レベル及び学部・学科単位で 3 回（12 月 4 日、1 月 8 日、2 月 26 日）にわたり「プレわよカフェ」というイベントを行ない、大学・学部・学科の学びについて理解を深め教員との交流を体験してもらうことができた。

教員組織に関しては前年度同様学部学科運営や開講科目に必要な員数と職位構成の要件を十分に満たしており（教授 8 名〔但し国際学科の教授 1 名は 2023 年 4 月 1 日より他学へ移籍〕、准教授 3 名、講師 1 名、助教 5 名）、きめ細やかな学生指導ができる体制を維持している。教員の FD に関しても大学、学部、学科のいずれのレベルにおいても全員が参加し日頃教育方法の研鑽を重ねている。

以上の通り 2022 年度は基本的に対面授業に戻り、設置趣旨達成の面で順調であったと認識している。今後も設置趣旨に則り一層教育の質を高めるべく努めていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年4月 公表

b 公表方法

- ・点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和3年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）による評価の結果、適合と認定された。

認定の期間は2022年4月～2029年3月である。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後 1ヶ月以内 ・ 公表後 2～3ヶ月以内 ・ 公表後 3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

(別添)

第2編 和洋女子大学 第1部 大学 第2章 組織 (和洋女子大学大学評議会規程)

○和洋女子大学大学評議会規程

(設置)

第1条 和洋女子大学学則第8条の規定に基づき、本学に大学評議会（以下「本会」という。）を置く。

(目的)

第2条 本会は、大学の充実と運営の効率化を図るため、大学運営等に関する重要な以下の事項について、審議を行うとともに、必要な連絡調整を行うことを目的とする。

- (1) 大学の将来構想及び中期計画・目標の企画立案に関する事項
- (2) 教員人事に関する事項（採用に伴う手続きは別に定める）
- (3) 自己点検及び評価の企画・実施に関する事項
- (4) F D(ファカルティ・ディベロップメント)に関する事項
- (5) 学長が必要と認めた事項

2 本会は、審議した事項について、必要に応じて教授会に報告しなければならない。教授会は、特に必要がある場合には、本会が審議した事項について、改めて審議し、本会に意見を述べることができる。

(構成員)

第3条 本会は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、国際交流センター長、教職教育支援センター長、学術情報センター長、事務局長、事務局次長、事務局各部長をもって構成する。

2 本会が必要と認めるときは、前項の規定に関わらず、その他の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

(会議)

第4条 本会は、原則として定期開催する。ほかに、学長が必要と認めるとき、又は構成員の2分の1以上の要求があったときは、学長がこれを招集する。

2 本会は大学院評議会と合同で開催することができる。

(議長)

第5条 本会の議長は、学長がこれに当たる。

2 学長に支障があるときは、学長があらかじめ指名する者がこれを代行する。

(成立要件)

第6条 本会は、委任状を含めて構成員(国内研修派遣者、海外研修派遣者、退職者、育児休業者及び介護休業者を除く。)の3分の2以上の出席をもって成立する。

(議決)

第7条 本会の議決ならびに教授会の審議結果を参酌し、学長は事項に関する方針を決定する。

(議事の公開)

第8条 本会の議事は、非公開とする。

(庶務)

第9条 本会の庶務については、庶務課が担当する。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、和洋学園諸規程の管理規程の定めによる。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から制定施行する。

本規程の制定により、和洋女子大学大学運営会議規程(平成27年4月1日制定施行)、全体協議会規程(平成10年3月17日制定施行)及び全体協議会運営規程(平成10年3月17日制定)については、平成30年3月31日をもって廃止する。

附 則

この規程は、2020年4月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、2022年4月1日から改正施行する。